

（仮称）津市津南防災コミュニティセンター 電気設備工事

※図面サイズはA2とする。

図面リスト					
電気設備工事					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
E-1	特記仕様書 1	E-11	照明器具姿図	A-14	立面図【参考】
E-2	特記仕様書 2	E-12	平面図 電灯設備図	A-22	断面詳細図 2【参考】
E-3	特記仕様書 3	E-13	平面図 非常照明、誘導灯設備図	A-23	断面詳細図 3【参考】
E-4	工事区分表	E-14	平面図 弱電設備図	A-25	断面詳細図 5【参考】
E-5	配置図	E-15	平面図 拡声設備図	A-26	断面詳細図 6【参考】
E-6	動力盤リスト	E-16	AV機器姿図、呼出表示機器姿図		
E-7	分電盤リスト	E-17	大ホールAV設備、拡声機器姿図		
E-8	非常用発電機設備図	E-18	自動火災報知設備図 凡例・系統図		
E-9	平面図 幹線・動力設備	E-19	平面図 自動火災報知設備図		
E-10	平面図 コンセント設備図				



電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事名称
(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 電気設備工事

2. 工事場所
津市半田内

3. 建物概要

建 物 概 要	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	用途区分
				消防法施行令別表第一
コミュニティセンター	S 造	1 階	730.00	(1) 項 □
計				

延べ面積は建築基準法による表記

4. 工事種目

主な工事種目は、下記の○印のついたものである。

工 事 種 目	工 事 場 所		
	コミュニティセンター		外構
電力設備	電灯設備	○	○
	動力設備	○	○
	常保護設備		
	接地設備		
受変電設備			
電力貯蔵設備	直流電源設備		
	交流無停電電源設備		
電力平準化用蓄電設備			
	分散電源設備		
発電設備	ディーゼル発電設備		○
	ガスエンジン発電設備		
	ガスタービン発電設備		
	太陽光発電設備		
	風力発電設備		
	その他発電設備		
通信・情報設備	構内情報通信網設備	○	
	構内交換設備	○	
	情報表示設備		
	映像・音響設備	○	
	拡声設備	○	
	誘導支援設備	○	
	テレビ共同受信設備	○	
	テレビ電波障害防除設備		
	監視カメラ設備		
	駐車場管制設備		
	防犯・入退室管理設備		
	自動火災報知設備	○	
	自動閉鎖設備		
	非常警報設備		
ガス漏れ火災警報設備			
中央監視制御設備			
医療関係設備			
構内配電線路			
構内通信線路		○	
その他			

II. 共通仕様

1. 適用

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。(最新のものを適用)

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編)

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編)

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編)

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編)

・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編)

・電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)

・電気工事業の業務の適正化に関する法律

・電気工事法

・労働安全衛生法

・消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む。)

・電力会社供給約款

・その他関連法令、関連諸基準

2. 一般共通事項

下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
1. 一般事項	(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 (2) 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合・図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図面のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合には、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図面のとおりに施工があっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じるものとする。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。 なお、調整不足による意匠的な仕上り不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。
2. 施工中の安全確保及び環境保全	低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
3. 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び隅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法」による足場の組立て等に関する基準」の2の②手すり設置方式又は③手すり先行専用足場方式により行うこと。
4. 三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に三重県産業廃棄物税支払い請求書に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。
5. 電気工作物の種類	・一般電気工作物 ●自家用電気工作物 ・事業用電気工作物
6. 電気工事士	電気工事士の区分により施工するものとし、契約電力が500kVA以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。
7. 有資格者の配置	(1) 消防設備の工事に従事する者は、当該設備に関する甲種消防設備士の資格を有する者とする。 (2) 電話設備、その他施工に資格が必要なものにおいては、関係法令に基づいた有資格者を配置し、施工するものとする。 電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。
8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律	
9. 電気主任技術者	工事着手から引き渡しまでの期間は、受注者が電気事業法で定める電気主任技術者を選任すること。
10. 現場事務所等に備え付ける図書	下記の図書(最新版のもの)を備え付ける。 ① 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) ② 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編) ③ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) ④ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針」・「電気設備工事監理指針」・「機械設備工事監理指針」 ⑤ 工事写真の撮り方・建築設備編 ⑥ その他、監督員の指示する図書及び工事の容量計算等に必要図書
11. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と充分に調整すること。 ① 総合施工計画書 包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。 ② 工種別施工計画書(施工要領書) 各種工種ごとに作成し、停電及び搬入計画書も作成する。 ③ 施工図(フロット図、平面図、断面図、各種詳細図) 主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。 ④ 耐震計算書、幹線計算書等 ⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など
12. 品質計画	品質計画については、監督員の承諾を受けること。
13. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。
14. 機器類の能力等	機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は原則として表示された数値以上とする。
15. 工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお、月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
16. 工事写真	営繕工事写真撮影要領(平成28年版)に従い撮影すること。
17. 完成図書	●作成する(●完成図 ・ 保金に関する資料 ・ ()) ●完成図作図範囲(設計図を訂正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本3部(原寸1部、A3(見開き)2部)により提出すること。
18. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 ●指定なし ・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ・指定あり ・指定日(・施設の休業日 ・打ち合わせによる ・その他()) 2) 施工可能時間帯 ●指定なし ・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ・指定あり ・指定時間(・() 時~() 時 ・打ち合わせによる ・その他()) 3) 概成工期 ・適用する(工事期日より() 日前) ●適用しない 4) その他()
19. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
20. 建設副産物情報交換システムの利用	受注者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

21. 発生材の処理等

(1) 引き渡しを要するもの()
(2) 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。
(3) 特別管理産業廃棄物
・変圧器
・コンデンサ
・その他()
現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。
なお施工に際して、PCO等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
(4) 現場内において再利用を図るもの
・発生土
・その他()
(5) 再資源化を図るもの
・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材
(6) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。
また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。
(7) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B2、D票を提示すること。)

22. 官公署への手続き

工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
●消防設備関係 ●電気工作物関係 ●受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係 ・その他()

23. 消防法関係の手続き

(1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
●本工事 (●建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事
(2) 防火区画使用開始届出書
書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。

24. 工用仮設備

構内への設置 ●できる(施設管理者と協議) ・できない

25. 工用電力、水、その他

(1) 本工事に必要な工用電力、水等の費用は受注者の負担とする。
(2) 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。

26. 工事中等の保安管理

新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。
大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法(扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。
発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。

27. 搬入計画

搬入計画

28. 製品確認

搬入計画

29. 機材等の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。

30. 完成確認及び完成検査時の電源確保

機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。

31. 完成時の操作説明

タイマ、総合盤、動力盤等操作に必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。
また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。

32. 不正軽油の使用の禁止

市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。

33. その他

設計図面に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。

2. 施工仕様

下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項																																																																			
1. 既設設備等の調査	既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に十分な調査を行うこと。 (1) 地中埋設管路 ① 項 目 ・埋設配管 ・構造物 ・その他() ② 調査範囲 ・埋設ルート ・その他() (2) 貫通及びはつり ① 項 目 ・鉄筋 ・配管 ・その他() ② 調査範囲 ・施工部分 ・その他() (3) 既設との取合い ① 項 目 ・接続箇所 ・増設箇所 ・その他() ② 調査範囲 ・施工部分 ・その他()																																																																			
2. 施工前の測定等	改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。																																																																			
3. 耐震施工	(1) 想定される地震に対応するものとする。 (2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。																																																																			
4. 耐震基準	(1) 適用 耐震措置の計算及び施工方法は、最新版の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(建設大臣官庁官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (2) 設計用水平地震力 機器の重量に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用水平震度は次のよう。 設計用標準水平震度(Ks) <table><thead><tr><th rowspan="2">設 置 場 所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">●特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th></th><th></th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上階層、屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td></td><td>水槽類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td></td><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">1階及び地下階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table>	設 置 場 所	機器種別	耐震安全性の分類				●特定の施設		一般の施設				重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上階層、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5		水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
設 置 場 所	機器種別			耐震安全性の分類																																																																
		●特定の施設		一般の施設																																																																
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																															
上階層、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																															
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																															
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																															
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																															
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																															
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																															
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																															
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																															
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																															
5. はつり	(1) 穴開け及び補修 ・なし ・あり (2) 溝はつり及び補修 ・なし ・あり																																																																			
6. あと施工アンカー	性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない																																																																			
7. 基礎の配線ビット	基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。 建築物引込部の配管の耐震処置 ●行う ・行わない 建築物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ・行わない																																																																			
8. 配管・配線の耐震処置	最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。																																																																			
9. 最上階の埋込配管	(1) 雨樋外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (3) 透視部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (4) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。																																																																			
10. 露出配管	(1) 合成樹脂管の管壁には、プッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。(P 管)																																																																			
11. 合成樹脂管	(1) 露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 ① 屋外、屋内(電気室、機械室、E P S、居室、廊下)、その他建築意匠上必要な箇所。 ② 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。 ③ 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。) ④ 仮付貫通部の金属配管には錆止め塗装を施すこと。 (2) 塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて割合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色後付塗装とする。																																																																			
12. 金属製電線管等の塗装	通線を行わない配管及び配線引き抜き後に空となった配管には、導入線(φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。																																																																			
13. 導入線	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。																																																																			
14. ボックス類	軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。																																																																			
15. 軽量間仕切のボックス	(1) 屋外形及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの(一边が600mm以上のもの)は、製作図を提出すること。 (2) 屋形プルボックスと露出配管等の接続部は、カップリング溶接等による。ただし、既設プルボックスに接続する場合は防水パテ等でシーリングを行う。 (3) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。																																																																			
16. プルボックス	屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ●ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ																																																																			
17. ボルト・ナット類	(1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。)を取り付ける。 ① ケーブル分岐部分 ② プルボックス内 ③ マンホール及びハンドホールごと (2) ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ・() 箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ・() 箇所																																																																			
18. ケーブル及び配線	高圧ケーブルの端末処理部、直線接続部等に処理者銘板(屋内内外で、線名、作業日、氏名等を表示。)を取り付ける。																																																																			
19. 高圧ケーブル端末処理																																																																				

17. 映像・音響設備	
(1)設備	●映像機器 ●音響機器 ・操作装置
(2)映像機器	1)表示機器 ・プロジェクト（・前面投射式） ・背面投射式） ・スクリーン（・反射マット形） ・反射ビーズ形 ・反射ストライプ形 ・透過形） ・スクリーニング上装置（・電動式 ・手動式） ・液晶ディスプレイ
	2)付属機器 ●録画再生装置（●HDD ●Blu-ray/DVD ・その他（ ）） ●録画チューナー（・UHF ●BS ・CS ・その他（ ）） ・カメラ ・パソコン ・その他の機器（ ）
(3)音響機器	1)増幅器 ①出力 （150×4）W ②方式 ●ステレオ ・モノラル ③出力インピーダンス ●Lo形 ・Hi形
	2)付属機器 ・グラフィックコイラーズ ●オーディオミキサー ●電源制御器 ・録画再生装置（・CD ・メモリアーディオ ・その他（ ）） ・ラジオチューナー（・FM ・AM ・その他（ ）） ●有線マイクローホン ●無線マイクローホン（●電波式（・アナログ ●デジタル） ・赤外線式） ・その他の機器（ ）
	3)スピーカ ・天井分散配置方式 ・集中配置方式 ●併用方式 ・その他（ ）
(4)操作装置	1)形状 ・卓型 ・キャビネットラック型 ●その他（ ）
	2)設置 ・固定式 ●可動式 ・その他（ ）
18. 拡声設備	
(1)機器	●増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ●スピーカ ・その他（ ）
(2)増幅器	●非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）
	専用 出力 （ ） W 出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形
(3)付属機器	・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器
	・録音再生装置（・CD ・メモリアーディオ ・その他（ ））
	・アナウンスレコーダ（・チャム ・独自メッセージ ・プログラムタイマ
	・その他（ ））
	・有線マイクローホン
	・無線マイクローホン（・電波式（・アナログ ・デジタル） ・赤外線式）
	・ラジオチューナー（・FM ・AM ・その他（ ））
	・スピーカ切替装置 ・その他の機器（ ）
(4)操作装置	・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他（ ）
(5)スピーカ	・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）
	専用 総括 ●1W ・3W（ ） W インピーダンス ・Lo形 ●Hi形 設置場所 ●屋内 ●屋外 ・その他（ ）
19. 誘導支援設備	
(1)設備	・音声誘導装置 ・インターホン ●トイレ等呼出装置
(2)音声誘導装置	1)検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他（ ）
	2)設置場所 ・屋外（防雨形） ・屋内
	3)機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他（ ）
	4)機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他（ ）
	5)新脚装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合壁組込 ・その他（ ）
	6)送信機 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他（ ）
	7)受信機 ・スピーカ式 ・イヤホン式 ・その他（ ）
(3)インターホン	1)用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用 ・その他（ ）
	2)機能 ・音声通話 ・映像モニタ
	3)通話網 ・親子式 ・相互直通式 ・混合式
	4)通話方式 ・同通話方式 ・交互通話方式 ・その他（ ）
	5)機器 ・親機 ・子機 ・その他（ ）
	6)親機 ①形状 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合壁組込 ・その他（ ） ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他（ ）
	7)子機 ①形状 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他（ ） ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他（ ）
(4)トイレ等呼出装置	1)用途 ●トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他（ ）
	2)機器 ●親機 ・呼出しスイッチ ・警報装置 ・その他（ ）
	3)親機 ●壁掛型 ・卓上型 ・複合壁組込 ・その他（ ）
	4)呼出しスイッチ ・押ボタン式 ●引紐式 ・その他（ ）
	5)警報装置 ●光 ・音声 ●ブザー ・ベル ・その他（ ）
20. テレビ共同受信設備	
(1)受信放送	・UHF ・BS ・CS ・FM ●CATV ・その他（ ）
(2)機器	●増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ●分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ
	・その他（ ）
(3)アンテナ	1)放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他（ ）
	2)マスト ・地上波用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・衛星用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・その他（ ）
	3)自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）
21. テレビ電波障害防除設備	
(1)対象戸数	（ ）戸
(2)機器	・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ
	・ヘッドエンド装置 ・その他（ ）
(3)アンテナ	1)放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他（ ）
	2)マスト ・地上波用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・衛星用（・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・その他（ ）
	3)自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）
22. 監視カメラ設備	
(1)機器	・カメラ ・モニター装置 ・録画装置 ・ハウジング ・放回装置
	・その他（ ）
(2)伝送方式	・アナログ伝送方式 ・ネットワーク伝送方式 ・その他（ ）
(3)カメラ	1)色方式 ・白黒 ・カラー
	2)駆動方式 ・固定式 ・遠隔可動式
	3)撮影条件 ・昼間 ・薄明時 ・夜間
	4)設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ）
(4)モニター装置	1)色方式 ・白黒 ・カラー
	2)モニター ・液晶 ・P.C ・その他（ ）
	3)設置 ・自立型 ・卓上型 ・壁掛け型 ・その他（ ）
(5)録画装置	1)記憶媒体 デジタル記憶媒体とする。（ ）
	2)記憶容量 （ ）
	3)時刻補正機能 ・FM放送受信（・アンテナ設置 ・既設利用） ・長波標準電波受信（・アンテナ設置 ・既設利用） ・その他（ ）

23. 駐車場管理設備	
(1) 機器	・管制盤 ・その他
(2) 管制盤	1) 機能 2) 形式
(3) 検知器	1) 方式 2) 検知器外箱 3) 検出対象車両 4) 検出対象速度
(4) 信号灯・警報灯	1) 方式 2) 警報音 3) 外箱
(5) 発券機	1) 発行券 2) 発行方式
(6) カーゲート	・バース ・その他
24. 防犯・入退室管理設備	
(1) 設備	・防犯装置 ・入退室管理装置
(2) 防犯装置	1) 機器 2) センサ 3) 制御装置 4) 機能
(3) 入退室管理装置	1) 機器 2) 制御装置 3) 認識部 4) セキュリティゲート
25. 自動火災報知設備	
(1) 機器	●受信機 ・その他
(2) 受信機	1) 型式 2) 回線数 3) 試験機能 4) 壁形式
(3) 副受信機 (表示装置)	1) 壁形式 2) 回線数 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。
(4) 中継器	試験機能
(5) 発信機	1) 型式 2) 消火栓ボブ起動 3) 設置 4) 回線数 5) 設置場所
(6) 感知器	1) 型式 2) 種類 3) 試験機能 4) 設置場所
26. 自動閉鎖設備	
(1) 機器	・運動制御器 ・その他
(2) 運動制御器	1) 制御対象 2) 回線数 3) 設置
(3) 感知器	1) 型式 2) 種類 3) 試験機能 4) 設置場所
(4) 自動閉鎖装置	1) 方式 2) 施工
(5) 自動開錠装置	1) 方式 2) 施工
27. 非常警報設備	
(1) 設備	・非常放送装置 ・非常ベル
(2) 非常放送装置	1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 3) 増幅器 4) スピーカ
(3) 非常ベル (自動式サイレンを含む)	1) 機器 2) 設置
28. ガス漏れ火災警報設備	
(1) 機器	・受信機 ・その他
(2) 受信機	1) 回線数 2) 種類 3) 設置 4) 増幅器 5) 非常用リモコンマイク
(3) 副受信機	設置
(4) 検知器	1) 動作 2) 定格電圧 3) ガス検知出力信号

【中央監視制御設備】	
29. 中央監視制御設備	
(1) 監視制御対象設備	・ 動力設備 ・ 変電設備 ・ 発電設備 ・ 火災報知設備 ・ その他 ()
(2) 既設との取り合い	・ 無し ・ 壁改造 ・ 配線接続 ・ その他 ()
(3) 機器	・ 監視操作装置 ・ 信号処理装置 ・ 記録装置 ・ 伝送装置 ・ 端末装置 ・ その他 ()
(4) 機能	仕様詳細は別図による。
(5) 監視操作装置	1) 形式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ 卓型 ・ その他 () 2) 表示装置 ・ 液晶ディスプレイ ・ その他 () 3) 操作装置 ・ タッチパネル ・ キーボード ・ マウス ・ その他 ()
(6) 信号処理装置	1) 形式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ 卓型 ・ ラック型 ・ 卓上型 ・ その他 () 2) 設置 ・ 単独 ・ 監視操作装置に組込 ・ その他 ()
(7) 記録装置	1) 形式 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ 卓型 ・ ラック型 ・ 卓上型 ・ その他 () 2) 設置 ・ 単独 ・ 監視操作装置に組込 ・ その他 () 3) 装置 ・ プリンタ ・ 記録メディア () ・ その他 ()
【医療関係設備】	
30. 非接地電源用分電盤	
(1) 機器	・ 絶縁変圧器 ・ 絶縁監視装置 ・ 電流監視装置 ・ 医用接地センタボディ ・ その他 ()
(2) 仕様詳細	仕様詳細は別図による。
31. ナースコール設備	
(1) 形式	・ 基本形ナースコール装置 ・ 携帯形ナースコール装置 ・ 情報表示形ナースコール装置 ・ 病床ユニット
(2) 仕様詳細	仕様詳細は別図による。
【構内配電線路】	
32. 構内配電線路	
(1) 配線方式	・ 地中線式 (・ 直埋 ・ 管路) ・ 架空線式 (・ 直接 ・ ちよう架線添架) ・ 建築物等添架式 (・ 露出配管 ・ 隠蔽配管 ・ その他 ()) ・ その他 ()
(2) 建柱	1) 施工 ・ 本工事 ・ 既設柱利用 ・ その他 () 2) 電柱 ・ コンクリート柱 ・ 鋼管柱 ・ バンザマスト ・ その他 () 3) 支持材 ・ 根かせ ・ 根はじき ・ 根巻き ・ 底版 ・ 支線 (保護ガード) ・ 有 ・ 無 4) 装柱材料 ・ 有 (電力仕様) ・ 無 5) 鈹板 ・ 有 ・ 無
(3) 装柱機器 (高圧用)	1) 機器 ・ 開閉器 ・ 遮断器 ・ カットアウト ・ 碍子 ・ その他 () 2) 耐環境性 ・ 一般用 ・ 耐塩用 () 3) 開閉器 仕様は 5. 変電設備 (6) 負荷開閉器 による。
(4) 装柱機器 (低圧用)	1) 機器 ・ 開閉器 ・ 開閉器箱 ・ 遮断器 ・ カットアウト ・ 碍子 ・ その他 () 2) 耐環境性 ・ 一般用 ・ 耐塩用 ()
(5) ハンドホール、 マンホール	1) 形式 ・ ブロック式 ・ 現場打ち 2) 施工 ・ 本工事 (・ 建築工事・電気設備工事) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所
(6) 鉄鉄蓋	1) 鉄鉄蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(7) 地中ケーブル保護 材料	1) 種類 ・ FEP ・ GLT (PEライニング管) ・ VE ・ HIVE ・ SGP ・ 厚鋼電線管 ・ その他 () 2) 標示杭埋設 ・ コンクリート製 ・ 鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ・ 2倍長 ・ その他 () 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【構内通信線路】	
33. 構内通信線路	
(1) 用途	● 電話用 ・ 拡声用 ・ 時刻表示用 ・ 火災報知用 ・ 非常警報用 ・ インターホン用 ● テレビ共用受信用 ・ 防犯用 ・ 制御用 ・ その他 ()
(2) 配線方式	● 地中線式 (・ 直埋 ● 管路) ・ 架空線式 (・ 直接 ・ ちよう架線添架) ・ 建築物等添架式 (・ 露出配管 ・ 隠蔽配管 ・ その他 ()) ・ その他 ()
(3) 建柱	1) 施工 ・ 本工事 ・ 既設柱利用 ● 構内配電線柱に添架 ・ その他 () 2) 電柱 ・ コンクリート柱 ・ 鋼管柱 ・ バンザマスト ・ その他 () 3) 支持材 ・ 根かせ ・ 根はじき ・ 根巻き ・ 底版 ・ 支線 (保護ガード) ・ 有 ・ 無 4) 装柱材料 ・ 有 ・ 無 5) 鈹板 ・ 有 ・ 無
(4) ハンドホール、 マンホール	1) 形式 ● ブロック式 ・ 現場打ち 2) 施工 ● 本工事 (・ 建築工事・電気設備工事) ・ 別途工事 ・ 既設利用 ・ その他 () 3) ケーブル支持金物の取付 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所
(5) 鉄鉄蓋	1) 鉄鉄蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水パッキン付とする。
(6) 地中ケーブル保護 材料	1) 種類 ● FEP ・ GLT (PEライニング管) ・ VE ・ HIVE ・ SGP ・ 厚鋼電線管 ・ その他 () 2) 標示杭埋設 ● コンクリート製 ・ 鉄製 (アスファルト部分) 3) 埋設標識シート ● 2倍長 ・ その他 () 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
【その他】	
34. 消火器	
(1) 設置	・ 本工事 (・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) ● 別途工事
(2) 消火器	種類 () ・ 数量 () 本
(3) 消火器収納箱	材質 () ・ 数量 () 面

Ⅱ．機器標準取付高さ 標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。（○印はバリアフリー対応）				
	名 称	側 点	取付高さ（mm）	備 考
電力	接地端子盤	床下～下端		
	取引用計器	地上～窓中心	１，８００～２，０００	
	引込開閉器	床下～中心	１，８００～２，０００	
電灯	分電盤	床上～中心	１，５００	上端１，９００mm
	スイッチ	床上～中心	１，３００	○１，０００mm
	コンセント（一般）	床上～中心	３００	○４００mm
	コンセント（和室）	床上～中心	２００	
	コンセント（台上）	床上～中心	１５０	
	コンセント（WP）	床上～中心	１，０００	
	コンセント（地下）	床上～中心	１，０００	
	コンセント（土間）	床上～中心	５００	
	ブラケット（一般）	床上～中心	２，１００～２，３００	
	ブラケット（鏡上）	鏡上端～中心	１５０	
助力	ブラケット（処理場）	床上～中心	２，５００	
	壁掛型制御盤	床上～中心	１，５００	上端１，９００mm
	手元開閉器	床上～中心	１，５００	
	操作スイッチ	床上～中心	１，３００	
電話	端子盤	床下～下端	３００	
	保安器盤	床上～中心	２，０００	
	壁位置ボックス	床上～中心	３００	
	壁位置ボックス（和室）	床上～中心	２００	
時計・拡声	壁掛型観時計	床上～中心	１，５００	上端１，９００mm
	予時計	床上～中心	２，３００	
	壁掛型スピーカ	床上～中心	２，３００	２，５００mm
	アッテネータ	床上～中心	１，３００	
表示	表示器	床上～中心	２，３００	
	壁付発信器	床上～中心	１，３００	
	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	２，３００	
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	１，３００	
	壁位置ボックス	床上～中心	３００	
	壁位置ボックス（和室）	床上～中心	２００	
	子機（身障者用）	床上～中心	１，１００	
	呼出しボタン（身障者用）	床上～中心	８００～９５０	便座先端から後方へ100～200mm 2倍目（高700mm、便座先端から前方400mm）
	表示灯（身障者用）	床上～中心	１，８００	
テレビ	機器収容箱	床上～中心	２，０００	
	直列ユニット	床上～中心	３００	
	直列ユニット（和室）	床上～中心	２００	
火災報知	受信機・副受信機	床上～中心	１，５００	
	発信器	床上～中心	１，３００	
	表示灯	床上～中心	１，８００	
	ベル	床上～中心	２，３００	

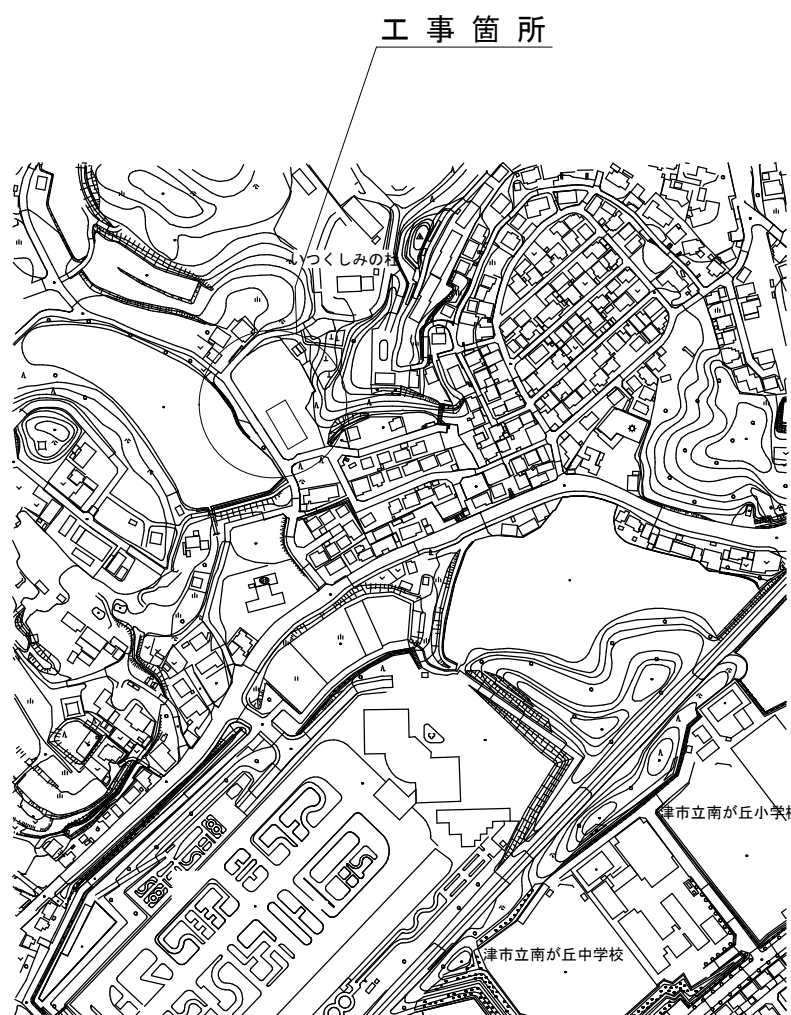
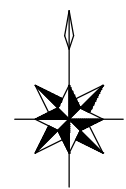
参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針（最終改正　平成21年国交省告示第906号）
ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等（平成25年4月　三重県）

施工方法及び検査に関する事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承認を得ること。
- ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響のないよう努めること。
- ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低騒動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、調整をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。
- ※ 工事期間中、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ※ 構外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。
- ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
- ※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
- ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等 occurred 場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書の提出すること。
- ※ 工事者手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監立合いのものと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
- ※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお内訳書の数量を参考とし、当図面を優先する。
- ※ 工期終結において、別途外構工事が計画されている為、工事期間が重複する場合は、別途外構工事受注者と調整を行うこと。

総合仮設・直接仮設 工事区分						
工事	工 種	項 目	工 事 区 分			
			建築	電気	機械	
総合仮設工事	仮設建物	監督員事務所				
		同備品				
		現場事務所 下小屋 倉庫	○	○	○	共同1棟可
		仮設便所	○	○	○	共同1棟可
	工事施設	仮囲い	○			
	現場安全	安全費	○	○	○	統括安全衛生管理は、 建築請負業者とする。
	機械器具	機械器具損料	○	○	○	
		揚重機費	○	○	○	
	その他	各種試験費	○	○	○	
	片付清掃	片付・清掃及び 発生材等の処理	○	○	○	
		周辺道路清掃	○	○	○	
直接仮設工事		仮設足場	○			各設備業者に対して 無償にて使用させる こと。
		清掃・片付け	○	○	○	
		養生	○	○	○	

工事区分									
No.		建築	電気	機械	No.		建築	電気	機械
1	機械基礎及びその仕上	○			28	避難器具			
2	鉄筋コンクリート造の設備工事に関するスリーブ及び箱入れ		○	○	29	浄化槽・受水槽・その他の水槽等のコンクリート躯体・断熱及び防水工事			
3	同上 鉄筋補強	○			30	同上 内部仕上・マンホール及びタラップ			
4	鉄骨造の設備工事に関するスリーブ及び補強				31	ガソリントラップ及びコンクリート製グリーストラップ			
5	機器取付用アンカー・架台		○	○	32	排水溝（厨房・敷地内通路・機械室）・ルーフファン・フロアドレン・雨水排水竖樋	○		
6	機械搬入に伴う開口・閉塞及び補強				33	雨水排水竖樋の根までの横引き			○
7	軽量鉄骨下地天井、	補強	○		34	雨水配管の防露工事			
	壁ボード類の切込				35	ビット・トレンチ内の排水設備工事			
8	埋込分電盤	補強	○		36	出入口のマット下排水目皿及び排水設備工事			○
	端子盤 フルボックス	切込		○	37	陶製以外の流し類（業務用等の厨房流しを除く）	○		
9	乾式壁に取付ける器具の下地補強	○	○	○	38	同上 接続工事			○
10	設備工事に伴う防水貫通用屋上スラブコンクリート仕上				39	浴槽			
11	配管・ダクトなどの貫通部防水仕舞		○	○	40	鏡	○		
12	屋内外ビット・トレンチ及びそれらの蓋マンホール・ハンドホールなどの化粧蓋		○	○	41	建物外内壁・ドア・窓枠の取付けるガラリ類（ガラリ取付本枠等も含む）	○		
13	屋外配管用スタンション		○	○	42	シャッター・自動ドア等制御盤から電動盤・スイッチ等に到る配管・配線		○	
14	二重スラブ内の水及び空気の漏通管二重壁内の湧水処理費				43	ウェザーカバー・ベントキャップ			○
15	大理石・テラゾー・ALC・PC・RC版・銅板などの穴あけ		○	○	44	洗面カウンター	○		
16	同上 穴あけに伴う補強	○			45	消火器	○		
17	設備機器・ダクト類の化粧囲い		○	○	46	衛生器具ユニット（ボウル一体型洗面カウンター含む）			○
18	吹出口・吸込口・照明器具・スピーカー・火災報知機・換気扇等の穴あけ		○	○	47	吊ボルト用インサート	○	○	○
19	同上 天井穴あけ部の下地補強	○			48	エアコンのリモコン配管、配線、制御配線			○
20	天井・壁・床及びパイプシャフトなどの点検口	○			49	煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管・配線			
21	ユニットシステム（バス・トイレ・キッチン）及び内部の配管・配線	○			50	小便器用節水装置の制御盤以降の配管・配線			
22	ユニットシステム（バス・トイレ・キッチン）への配管・配線及び接続		○	○	51	電力	○	○	○
23	保守用キャットウォーク・タラップ手摺（設備機器に装着するものを除く）				52	用水	○	○	○
24	換気扇取付枠			○					
25	同上 穴あけに伴う補強	○							
26	配電盤・制御盤等の基礎（屋内外）								
27	ルーフファン								



付近見取図

別途工事 (参考)

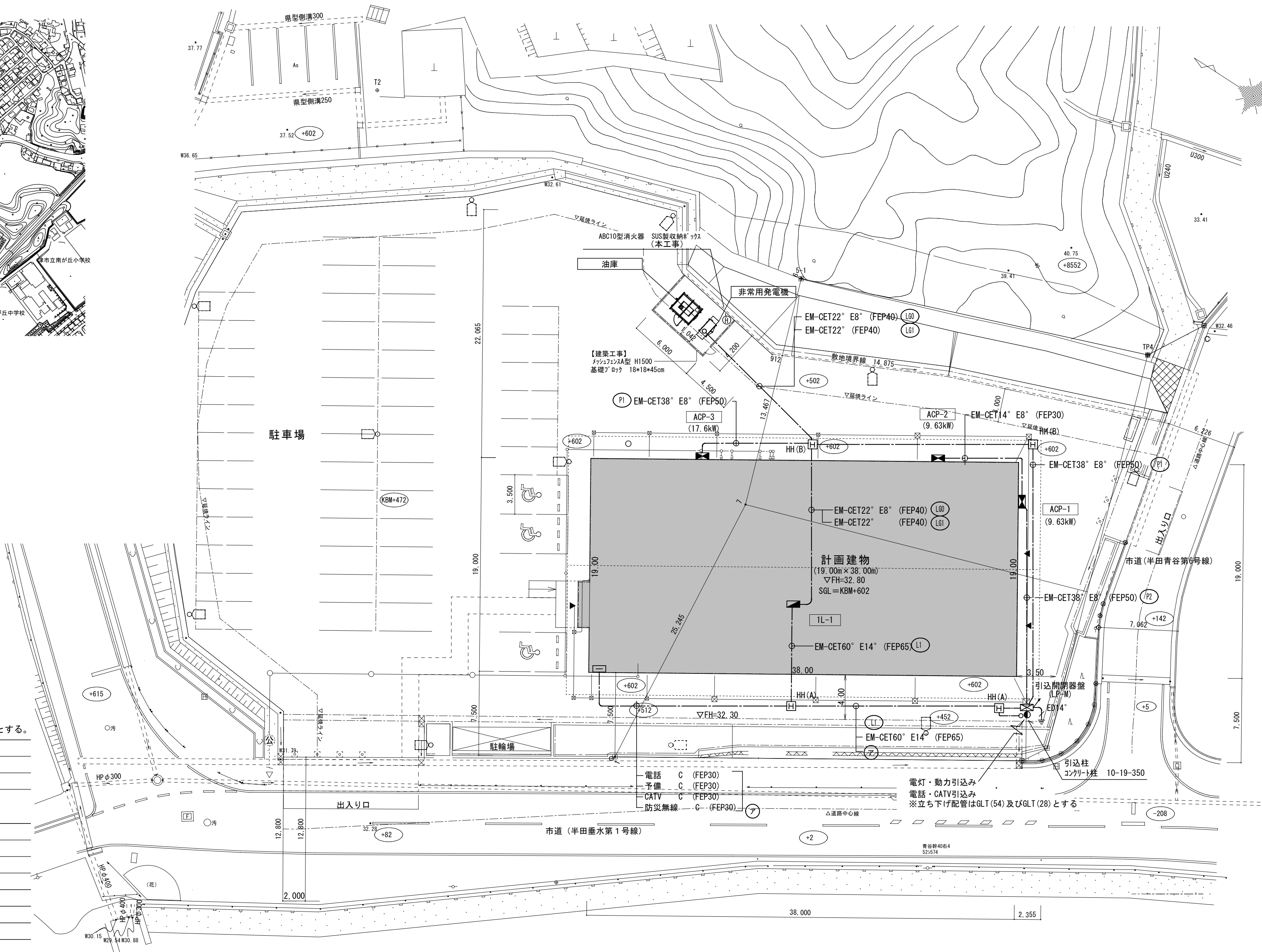
名 称	記 号
場内照明灯	○
かまどベンチ	□

※注記 動力盤への地中管路からの立ち上げ、立ち下げ配管は下記とする。

ACP-1	立ち上げ : G(42)	立ち下げ : G(28)
ACP-2	立ち上げ : G(28)	
ACP-3	立ち上げ : G(42)	

(凡例)

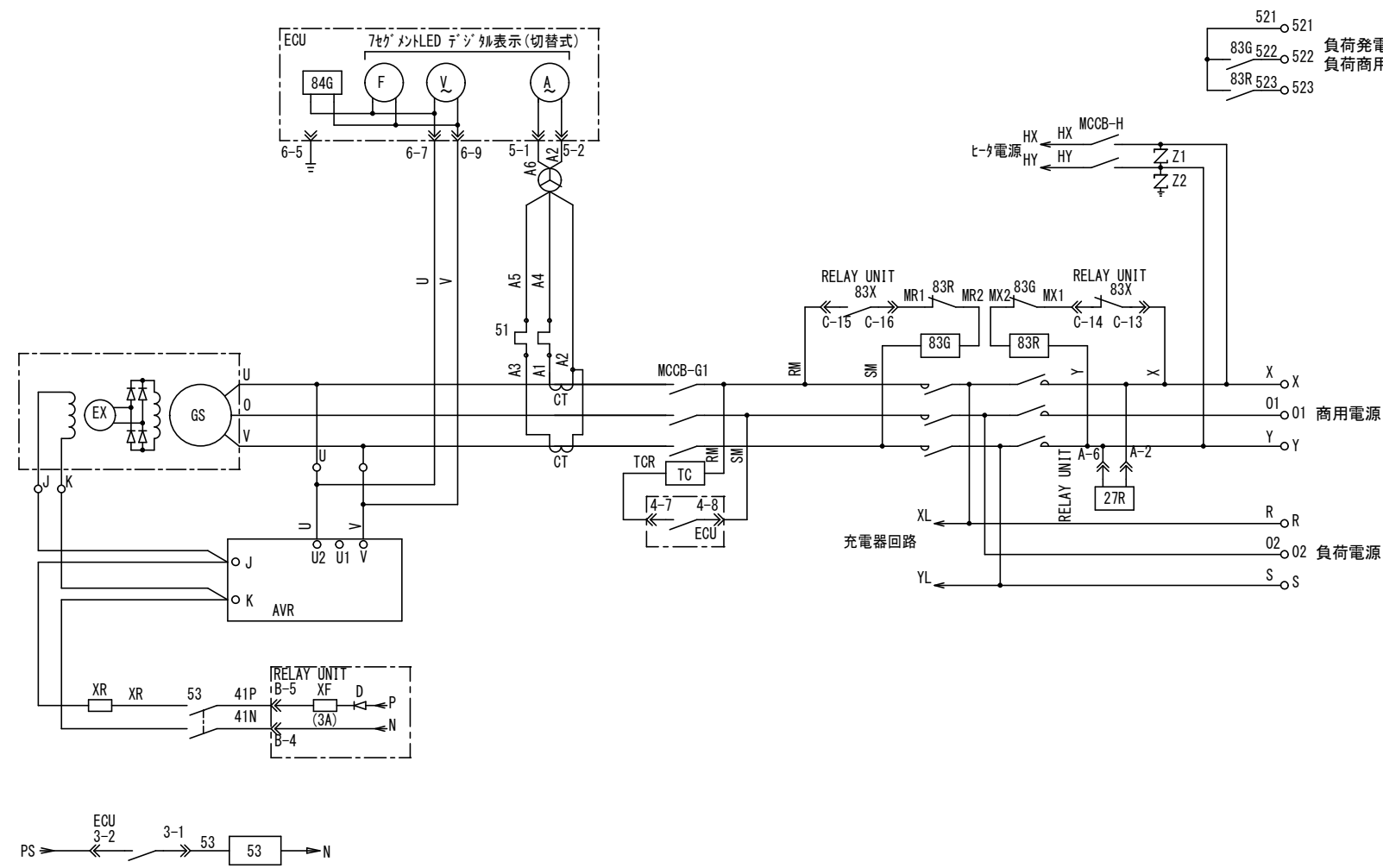
□	HH(A)	ハンドホール	:900x900x900	H ₂ - ₉₀	S8K-60	セパレーター付
□	HH(B)	ハンドホール	:600x600x900	H ₁ - ₆₀	S8K-60	
■		電灯盤				
■		動力盤				
—		端子盤				
—		接地工事	D種			



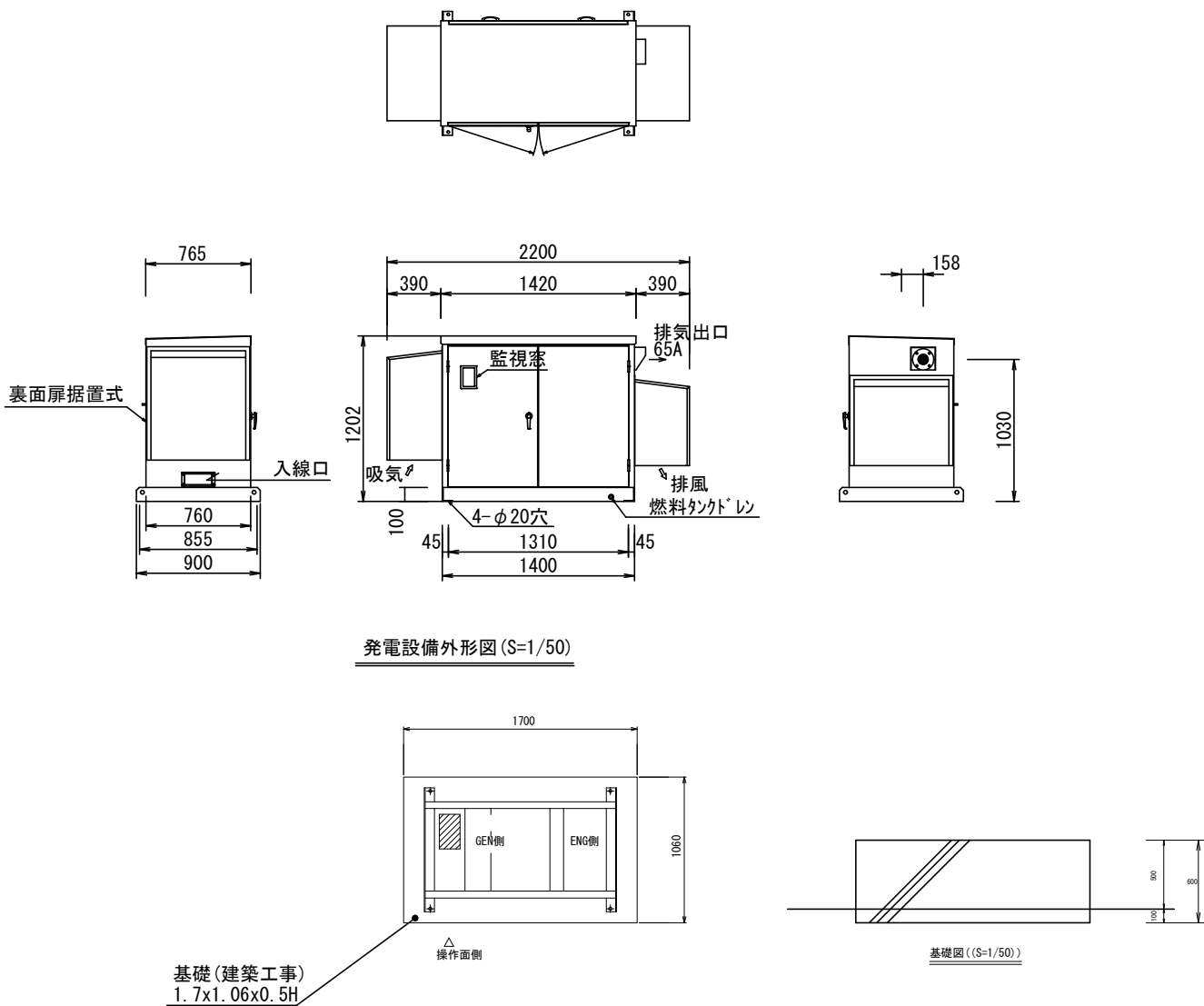
要目表						
発電機	形 式	横軸回転界磁形同期発電機	エンジン	形 式	立形水冷4サイクルディーゼル機関	
	容 量	15 kVA		燃焼方式	直接噴射式	
		15kW		定格出力	29.4kW	
	電 圧	210/105V		回転速度	3600 min ⁻¹	
	電 流	71.5A		総排気量	1.496 L	
	周波数	60 Hz		冷却方式	ラジエタ冷却	
	回転速度	3600min ⁻¹		冷却水量	3.7L	
	相 数	1相3線		始動方式	セルモータによる電気始動	
	極 数	2極		使 用 燃 料	種 類	ディーゼル軽油
					搭載容量	別置き
					燃料消費量	5.9 L/h
	励磁方法			ブラシレス	潤滑油量(全量/有効量)	7.2/4.7 L
	耐 熱 クラス	発電機		電機子:F 界磁:H	ラジエタファン排風量	53 m ³ /min ³
		励磁機		電機子:F種 界磁:F種	パ ーテリ-	種 類
	保護方式			開放保護形(IP20)		容 量
冷却方式		自由通流形(IC01)	始動時間	40秒		
充電方式		半導体式全自動充電				
キュービクル		騒音値※	85dB(A)以下	乾燥質量	630kg	
		塗装色	5Y7/1 半ツ	装備質量	664kg	
ベース		仕 様	溶融亜鉛メッキ	認 定	(一社)日本内燃力発電設備協会	

※4方向144°-平均
機側1m、高さ1.2m 半自由音場下による

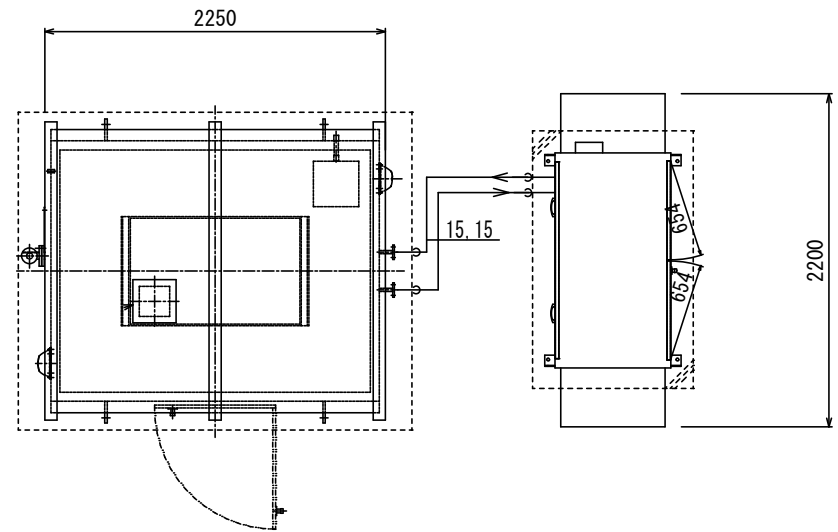
保護警報装置						
項 目	デバイス	警報表示灯	警 報	機 関 自動停止	主回路遮断	外 部 信 号
潤滑油油圧低下	63Q	○	○	○	○	○ (一括)
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	
過 回 転	12	○	○	○	○	
始 動 渋 滞	48T	○	○	○	—	
過 電 流	5I	○	○	×	○	
緊 急 停 止	5E	○	○	○	○	



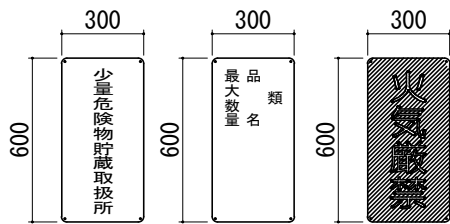
結 線 図



発電設備外形図 (S=1/50)



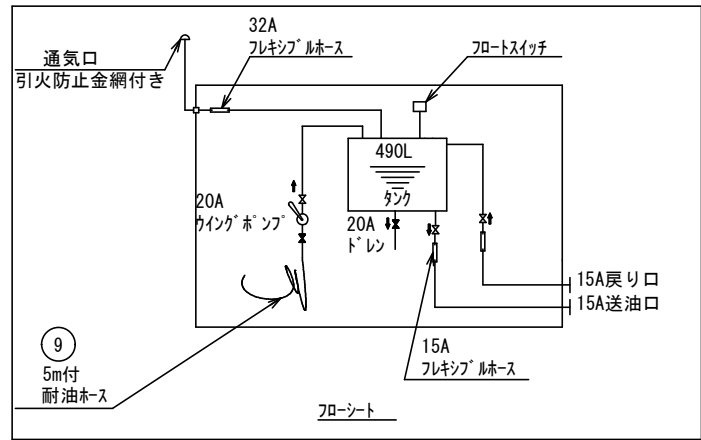
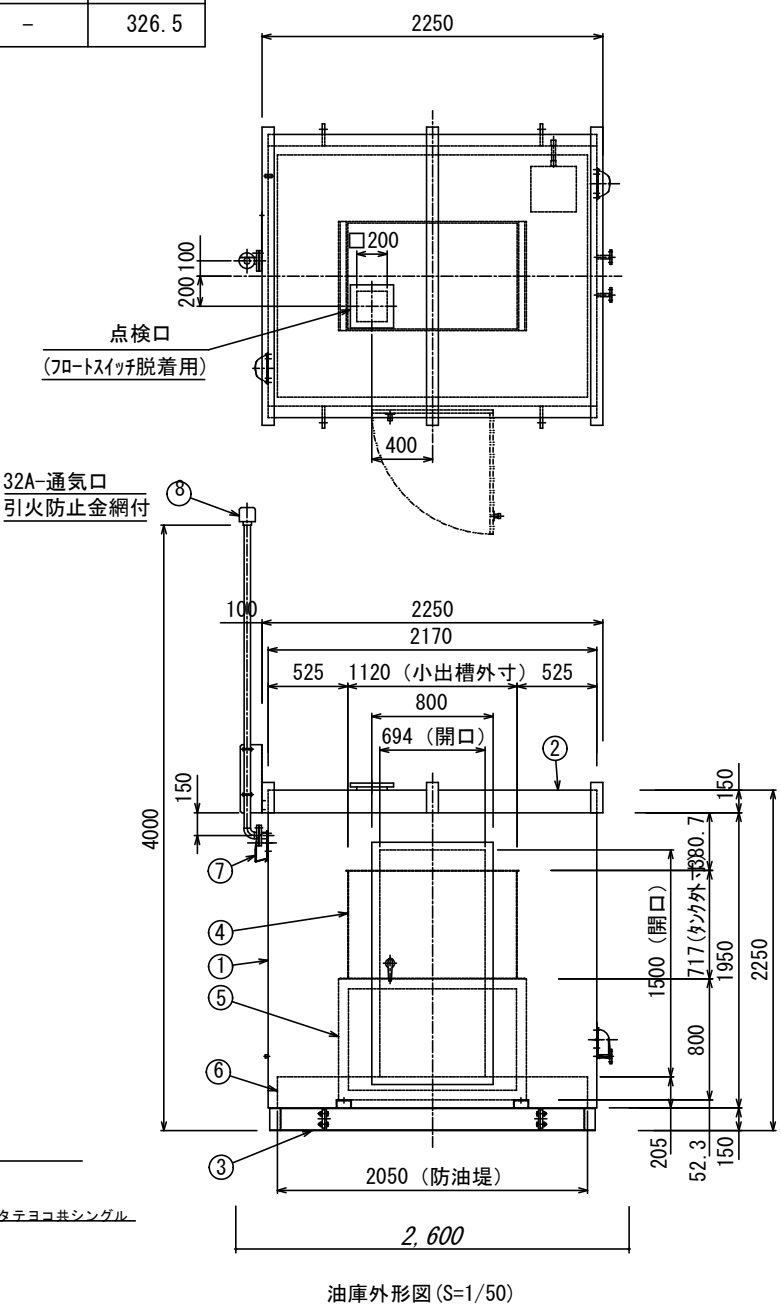
発電機設備設置 標識及び掲示板 姿図



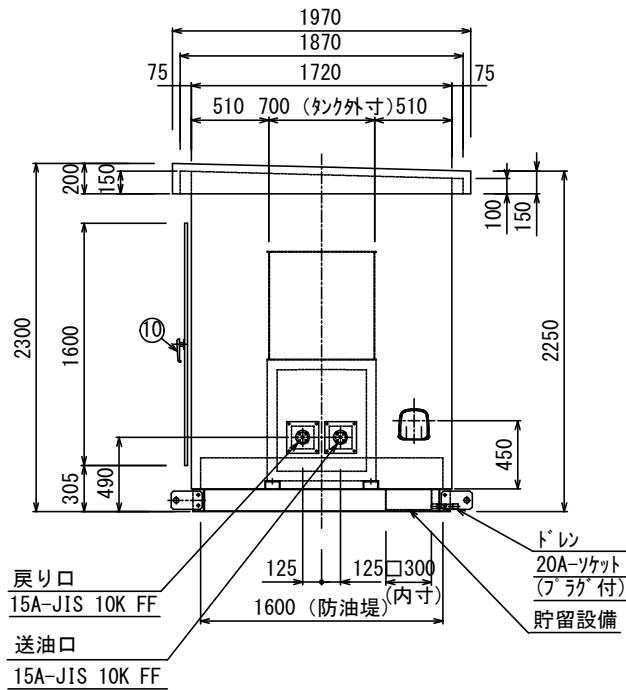
燃料消費量					
負荷率 (%)	0	25	50	75	100
発電機出力 (kW)	0	3	7	11	15
燃料消費量 (l/h)	1.3	2.8	4.4	5.5	5.9
燃料消費率 (g/kWh)	—	—	—	—	326.5

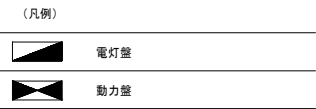
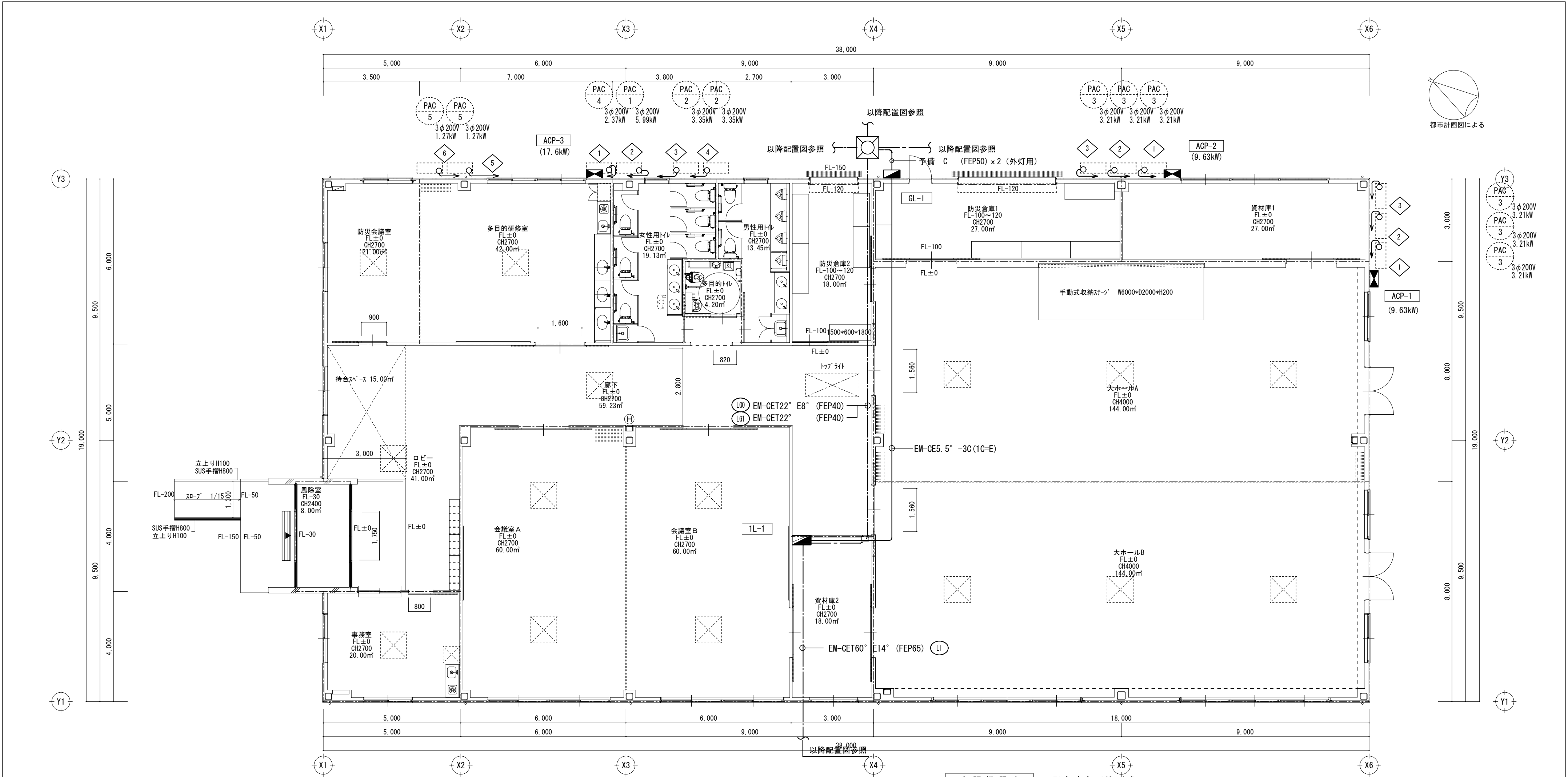
5.9 (l) x 72 (時間) = 424.8 (l)

防油堤容量	661L = (2045.4 x 1595.4 x 202.7) / 106
タンク容量	490L

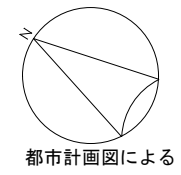
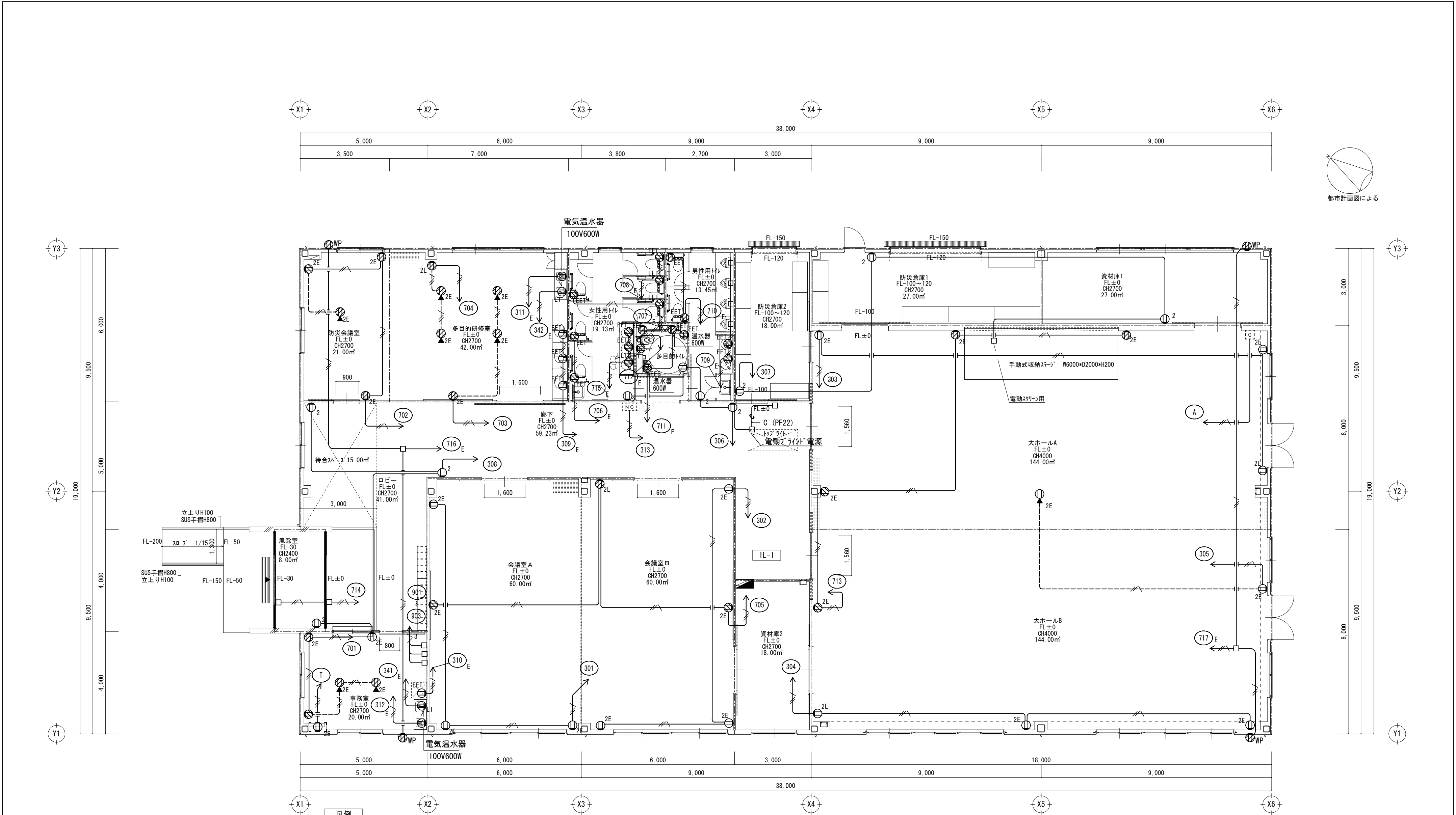


10	ドレン
9	耐油ホース(付属品)
8	通気口
7	防火ダンパー付フード
6	防油堤
5	燃料小出槽架台
4	燃料小出槽
3	ベース
2	屋根
1	本体 (鋼板製)





空調機器表		形式:空冷ヒートポンプ式						
機器番号	機器名称 参考型番	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量			台数	設置場所及び備考	配管配線サイズ
			電源 (V)	圧縮機 (kW)	消費電力 (kW)			
PAC-1	パッケージエアコン	形 式 天井カセット形 4方向 同時ツイン	3-200	4.0	冷 5.99	1	ロビー、廊下	EM-CET14° E5.5° (G28)
		冷房能力 20.0(4.6～22.4) kW			暖 5.47			
	RCI-AP224GHP4	暖房能力 22.4(5.6～28.0) kW			低温6.75			
PAC-2	パッケージエアコン	形 式 天井カセット形 4方向 同時ツイン	3-200	3.4	冷 3.13	2	会議室A,B	EM-CE5.5° -4C (G22)
		冷房能力 14.0(3.2～16.0) kW			暖 3.35			
	RCI-GP160RGHP	暖房能力 16.0(4.0～20.2) kW			低温5.2			
PAC-3	パッケージエアコン	形 式 天井カセット形 4方向	3-200	2.65	冷 3.16	6	大ホールA,B	EM-CE5.5° -4C (G22)
		冷房能力 12.5(3.1～14.0) kW			暖 3.21			
	RCI-GP140RGH	暖房能力 14.0(3.5～18.2) kW			低温5.71			
PAC-4	パッケージエアコン	形 式 天井カセット形 4方向	3-200	1.85	冷 2.26	1	多目的研修室	EM-CE5.5° -4C (G22)
		冷房能力 10.0(2.5～11.2) kW			暖 2.37			
	RCI-GP112RGH	暖房能力 11.2(2.8～14.0) kW			低温4.17			
PAC-5	パッケージエアコン	形 式 天井カセット形 4方向	3-200	1.05	冷 1.21	2	防災会議室、事務室	EM-CE3.5° -4C (G22)
		冷房能力 5.6(1.4～6.3) kW			暖 1.27			
	RCI-GP63RGH	暖房能力 6.3(1.6～8.0) kW			低温1.89			

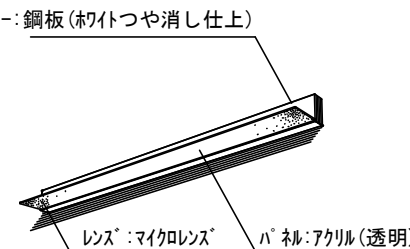
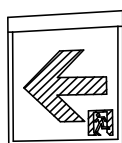


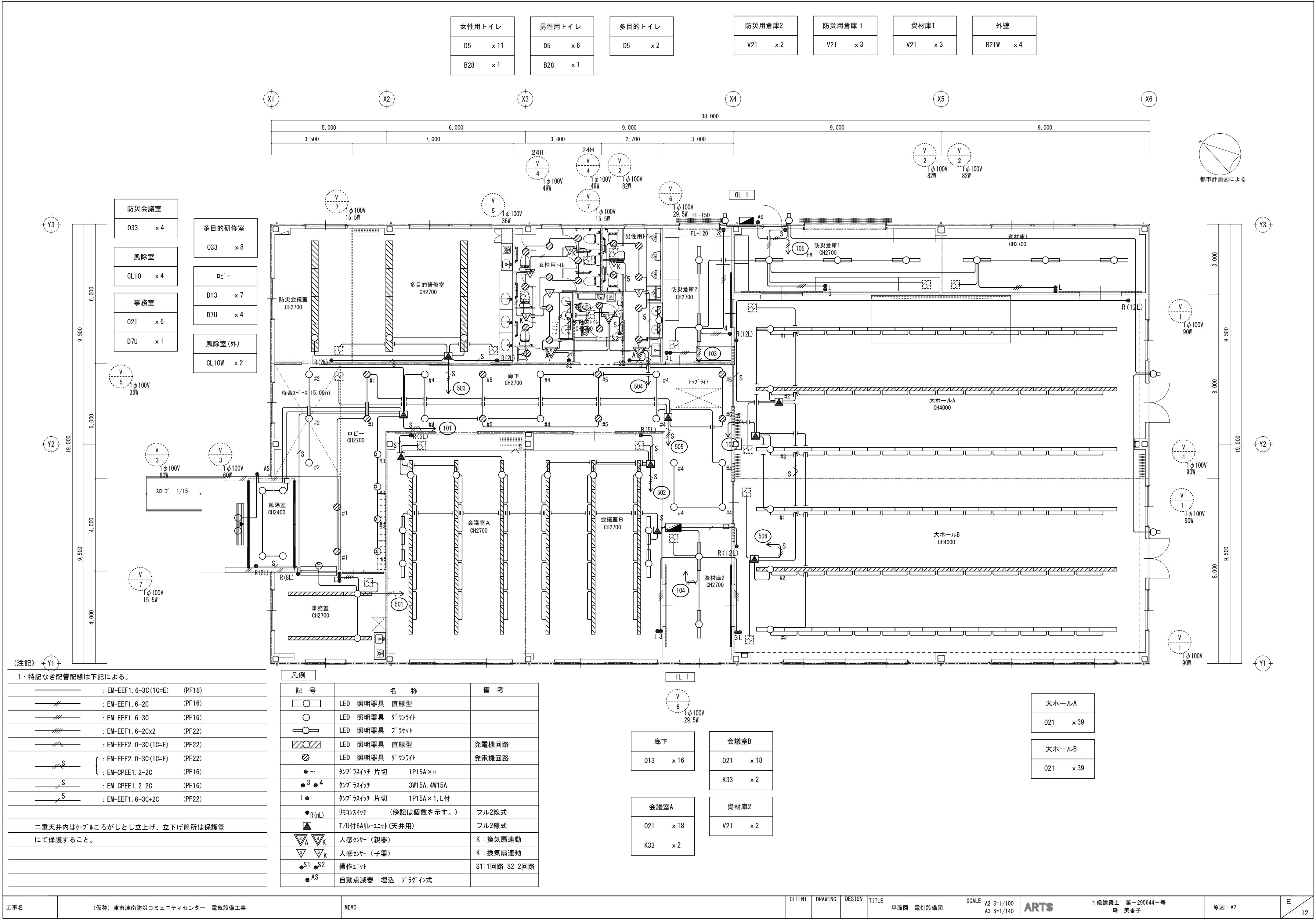
(注記)

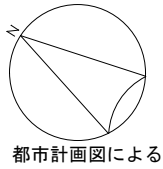
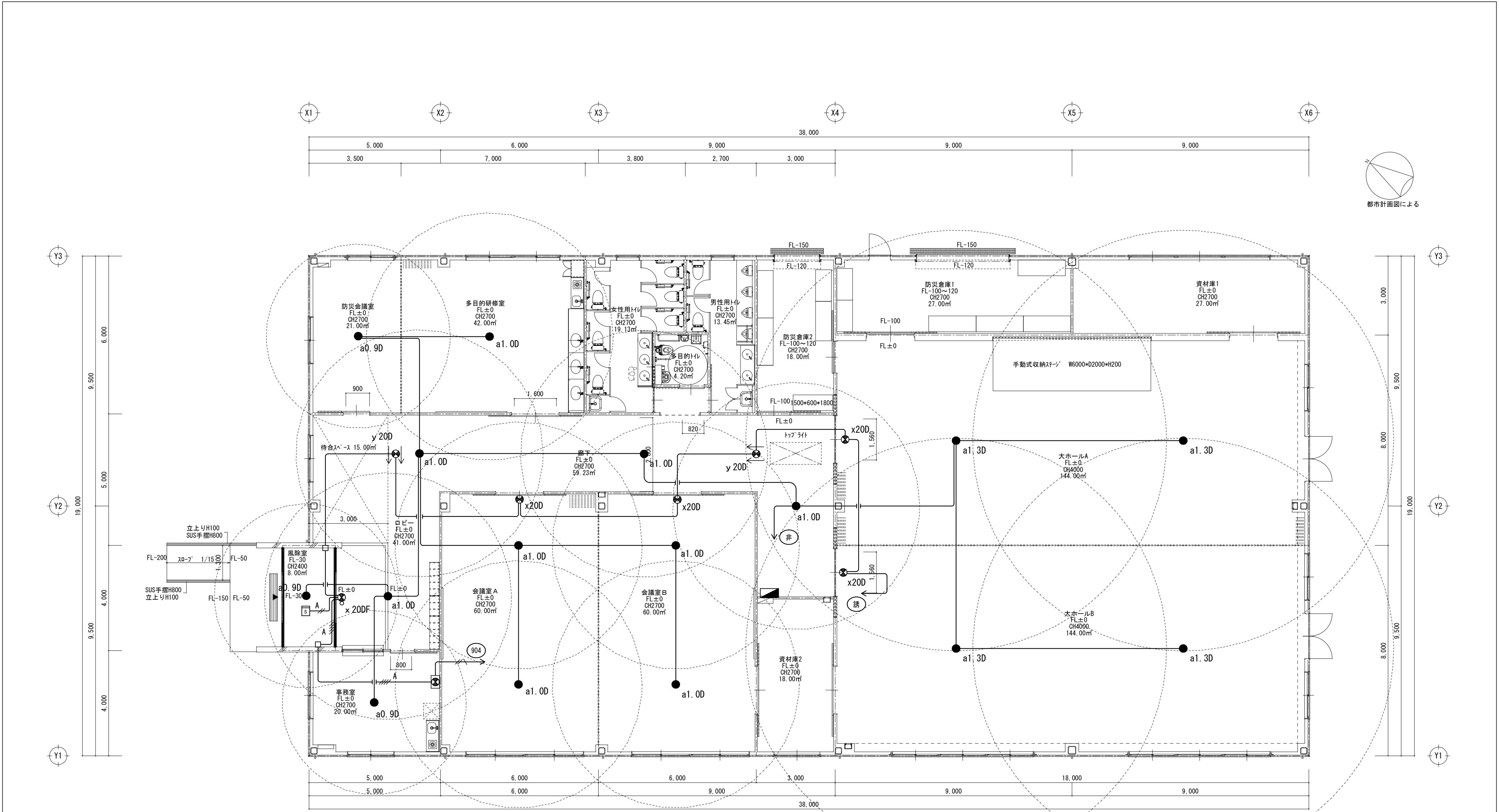
1・特記なき配管配線は下記による。		
	: EM-EEF2. 0-2C	(PF16)
	: EM-EEF2. 0-3C (1C=E)	(PF22)
	: EM-EEF2. 0-3C (1C=E)	(PF22) 土間いんべい配管
	: EM-EEF2. 0-3C (1C=E)	(PF22) × 3
二重天井内はケーブルルネがしとし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。		

凡例		
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	
	防水コンセント 2P15Ax2, 接地極付 3in- (鍵付) 参考型番: WK47020	発電機回路 (赤)
	埋込コンセント 2P15Ax2	
	埋込コンセント 2P15Ax2, 接地極付	
	埋込コンセント 2P15Ax1, 接地極, 接地端子付	
	埋込コンセント 2P15Ax1, 接地端子付	
	埋込コンセント 2P15Ax2, 接地極付	発電機回路 (赤)
	フタコンセント 2P15Ax2, 接地極付	発電機回路 (赤)
	フタコンセント 2P15Ax2, 接地極付	
	埋込コンセント 2P20Ax1 引掛プラグ共	

照 明 器 具 姿 図

LED 直付天井灯			LED 埋込天井灯			LED 黒板灯			LED ブラケット			LED ダウンライト																																																																												
V21	LED 2.1W以下 3200lm		021	LED 21.4W以下 3200lm		K33	LED 32.5W以下 4470lm		B28	LED 28W以下 3160lm		D13	LED 13.3W以下 1665lm																																																																											
			033 LED 32.5W以下 5200lm																																																																																					
			埋込 100 x 1216xn																																																																																					
使用場所	倉庫		使用場所	会議室A, B, 防災会議室, 多目的研修室, 大ホール		使用場所	会議室A, B,		使用場所	トイレ(手洗い)		使用場所	廊下, ロビー																																																																											
	公共型番 : LSS9-3200LM			参考型番 : MY-B45025			公共型番 : LRS8-4350LM			参考型番 : FYY46030LT9			参考型番 : XDN1658WNKLE9																																																																											
LED ダウンライト			LED ダウンライト			LED シーリングライト			LED シーリングライト			LED ダウンライト																																																																												
D5	LED 5.0W以下 545lm		D7U	LED 7.2W以下 555lm		CL10	LED 9.9W以下 1100lm		CL10W	LED 9.9W以下 1100lm		B12W	LED 12W以下 650lm																																																																											
埋込穴φ100			埋込穴φ100 ユニバーサルダウンライト						軒下用																																																																															
使用場所	トイレ		使用場所	ロビー		使用場所	風除室		使用場所	風除室(外)		使用場所	外壁																																																																											
	公共型番 : LRS1-400LM-1			参考型番 : NTS61131W+NTS90151			参考型番 : NNN54520W			参考型番 : NNN54540W			公共型番 : LBF3MP/RP-650LM-2																																																																											
LED 非常灯			LED 非常灯			LED 非常灯																																																																																		
a0.9D	LED 0.9W		a1.0D	LED 1.0W		a1.3D	LED 1.3W																																																																																	
大臣認定番号:LAE-0043 非常灯評定番号:D-LALH-40			非常灯評定番号:D-LALH-41 大臣認定番号:LAE-0044			非常灯評定番号:D-LALH-43 大臣認定番号:LAE-0046																																																																																		
																																																																																								
保守率:0.92 K0143780			保守率:0.92 K0143780			保守率:0.92 K0143775																																																																																		
<table><tr><td>器具高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>2.8</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>8.5</td><td>9.4</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>6.9</td><td>7.6</td><td>8.1</td><td>8.9</td></tr></table>			器具高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9	<table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>3.3</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>11.7</td></tr></table>			器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7	<table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>5.4</td><td>5.9</td><td>6.3</td><td>6.9</td><td>7.9</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>11.3</td><td>12.7</td><td>13.5</td><td>15.2</td><td>18.6</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>8.5</td><td>9.6</td><td>10.2</td><td>11.6</td><td>14.6</td></tr></table>			器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6			
器具高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																																																																																				
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8																																																																																			
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1																																																																																			
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9																																																																																			
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																			
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																																																																																		
直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																																																																																		
四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																																																																																		
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																			
単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9																																																																																		
直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6																																																																																		
四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6																																																																																		
使用場所	各所		使用場所	各所		使用場所	各所																																																																																	
	公共型番 : K1-LRS11-1			公共型番 : K1-LRS11-2			公共型番 : K1-LRS11-3																																																																																	
LED 避難口誘導灯 B級・BL形			LED 通路誘導灯 B級・BL形			LED 避難口誘導灯 B級・BL形																																																																																		
x20DF	LED 2.7W		y20D	LED 2.7W		x20D	LED 2.7W																																																																																	
																																																																																								
使用場所	各所		使用場所	各所		使用場所	各所																																																																																	
	公共型番 : SH1-FSF20AF-BL			公共型番 : ST1-FSF23-BL			公共型番 : SH1-FSF20-BL																																																																																	



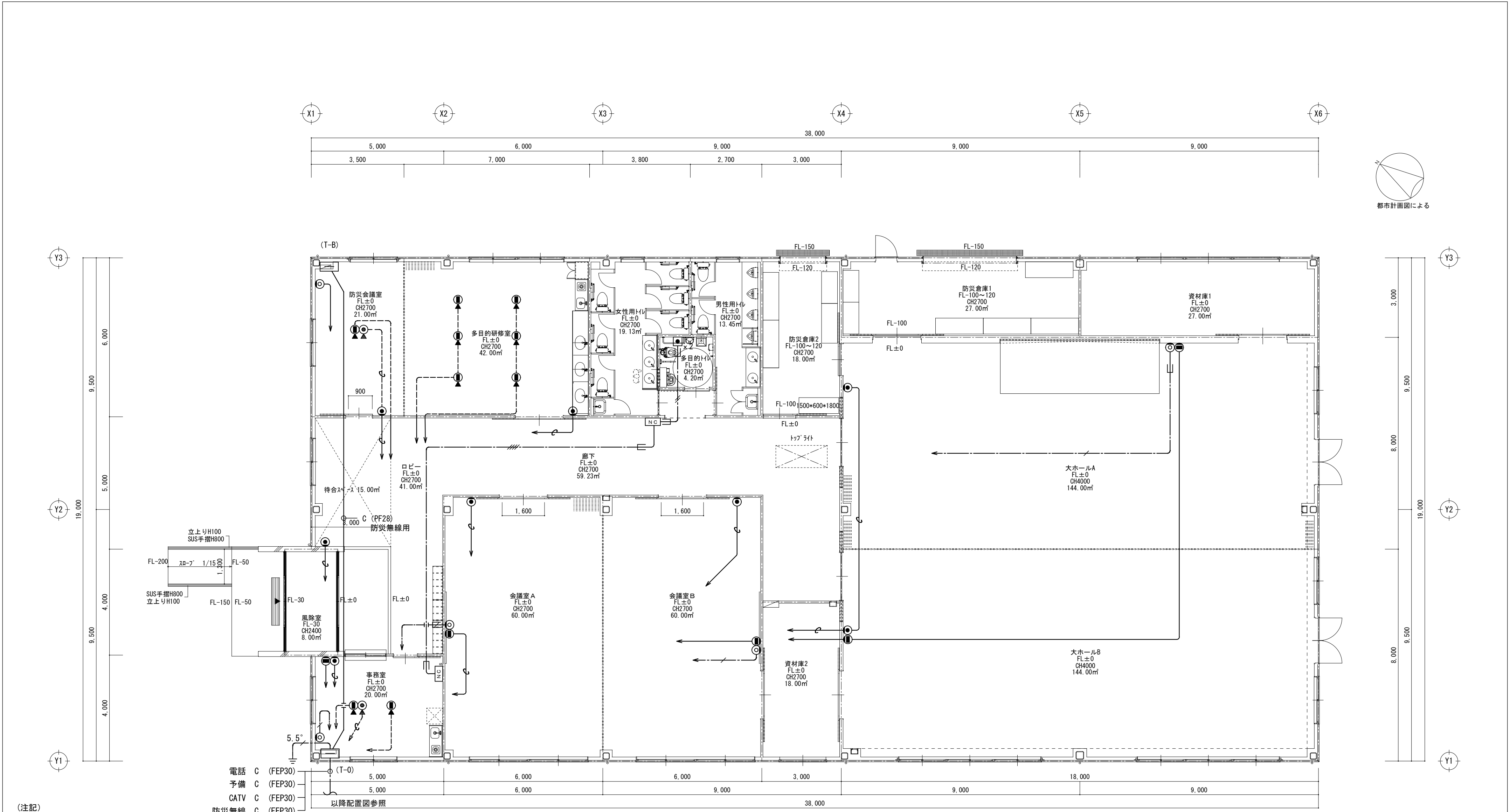


(注記)

1・特記なき配管配線は下記による。		
	: EM-EEF2.0-2C	(PF16)
	: EM-EEF2.0-2C	(PF22)
	: EM-EEF2.0-3C (1C=E)	(PF22)
	: EM-AE1.2-2C	(PF16)
	: EM-AE1.2-4C	(PF16)
二重天井内はケーブルころがしとし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。		

凡例

記 号	名 称	備 考
●	非常灯	電池内蔵
○	非常灯包含範囲	
⊗	避難口誘導灯	
⊗	避難口誘導灯	点滅誘導音付
⊗	廊下通路誘導灯	両面
⊗	誘導灯信号装置 (参考型番 : FF90024K)	1回路用
⊗	光電式ｽﾏｰﾄﾞ感知器	3種 露出



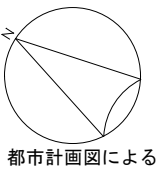
(注記)

1・特記なき配管配線は下記による。

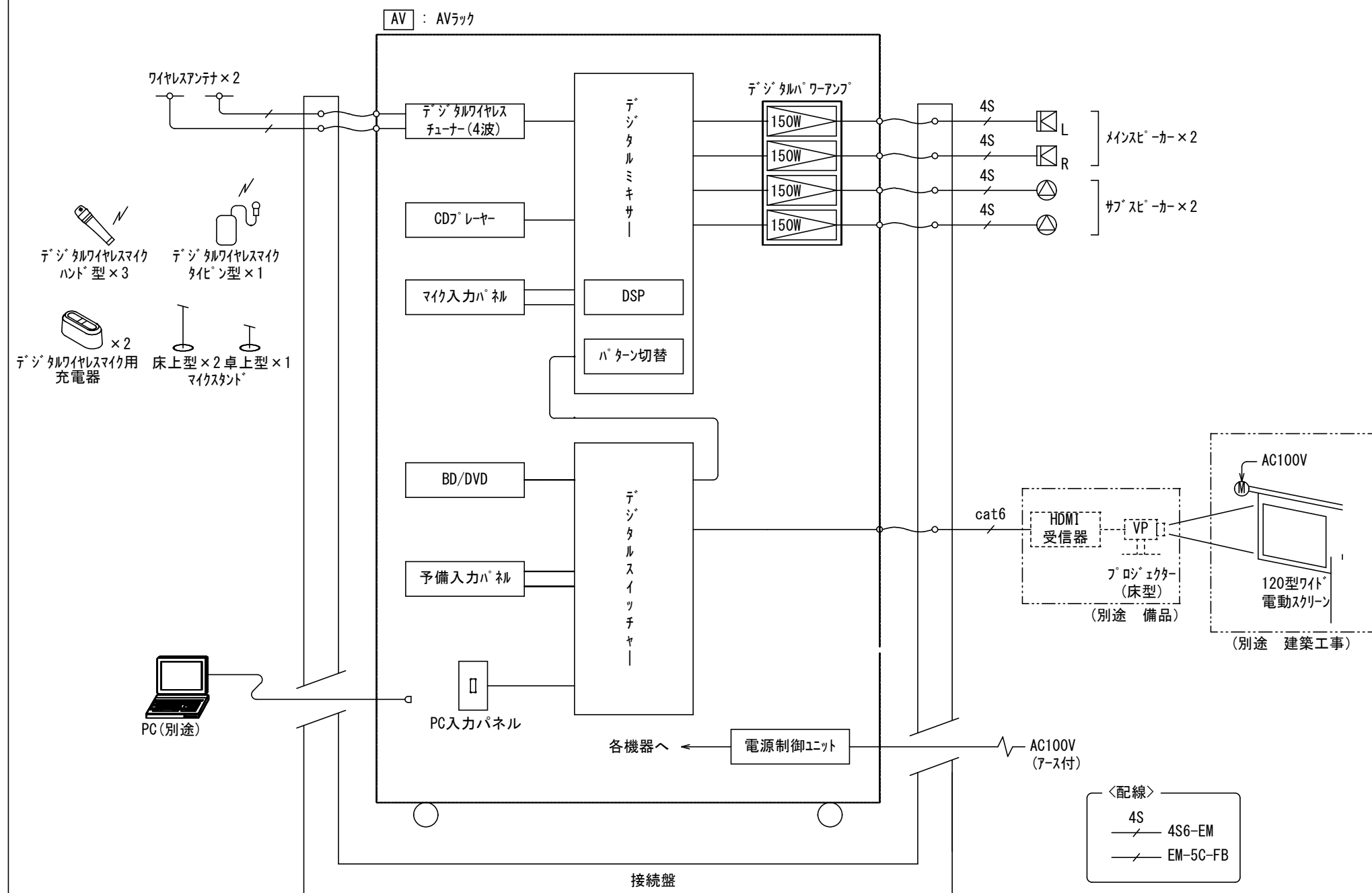
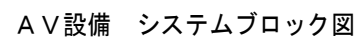
構内交換設備	
——○——	C (PF16)
-----○-----	C (PF16) 土間いんべい配管
構内情報通信網設備	
——	EM-UTP CAT6 4P (PF22)
-----	EM-UTP CAT6 4P (PF22) 土間いんべい配管
トイレ呼出表示設備	
——//——	EM-AEO.9-2C (PF16)
——//——	EM-AEO.9-4C (PF16)
テレビ共聴設備	
——/——	EM-S-5C-FB (PF16)

二重天井内はケーブルを隠しとし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。

X2 X3 X4				
凡例				
記 号	名 称	備 考	端子盤リスト	
	端子盤		(T-0)	
	電話用7ポート 壁付け,床付け	1/2" ルプレート,フックプレート	電話	保安器 スペース
	情報用7ポート 壁付け,床付け	8極8芯モジュラージャック		10P
	呼出表示器	親機		モジュール、ルーター スペース
	呼出表示器	副親機	CATV	保安器 スペース
	呼出押釦	引き紐付		プーラー x 1 CATV-1
	直列ユニット			6分配器 x 1 CS-D6W
	カバープレート		(T-B)	防災無線切替機収納
			参考寸法	400 x 400



工事名	(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 電気設備工事	MEMO	CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE 平面図 拡声設備図	SCALE A2 S=1/100 A3 S=1/140	ARTS	1級建築士 第一295644-号 森 美香子	原因：A2	E 15
-----	------------------------------	------	--------	---------	--------	--------------------	-----------------------------------	------	---------------------------	-------	---------



音響ワゴン

No.	名 称
1	木製ラック
2	デジタルイデスチューナ(4波)
3	デジタルミキサー
4	マイク入力バ 柵
5	CDプ レーザ
6	予備入力バ 柵
7	デジタルスイッチャ
8	BD/DVD
9	プ ランクバ 柵
10	通気バ 柵
11	デジタルバ アンプ 150Wx4ch
12	電源制御ユニット

		参考型番：WQ4302K
定格	電源電圧	AC100V 50/60Hz
	消費電力	待機時：3W以下 最大時：5.5W以下
形状	埋込型（適合ボックス 2個用スイッチボックス（深型））	

NC トイレ呼出表示器（親器）

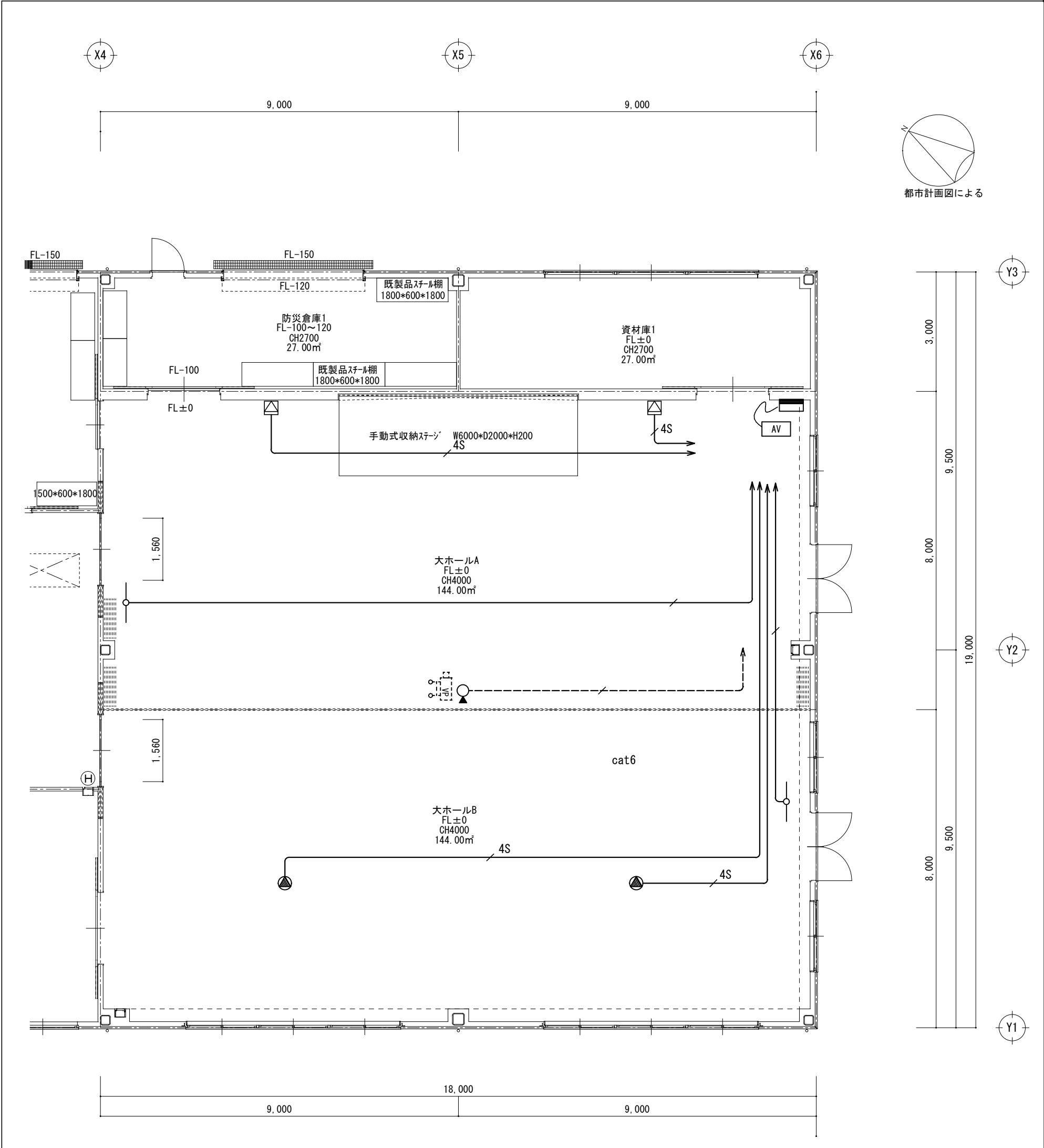
参考型番：WQ4402K	
定格	電源電圧 DC12V 親器より供給
形状	埋込型（適合ボックス 2個用スイッチボックス（深型））

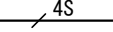
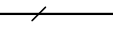
トイレ呼出表示器（副親器）

●	トイレ呼出ボタン
---	----------

参考义

工事名	(仮称) 津市津南防災コミュニティセンター 電気設備工事	MEMO	CLIENT	DRAWING	DESIGN	TITLE AV機器姿図、呼出表示機器姿図	SCALE A2 S=NS A3 S=NS	ARTS	1級建築士 第-295644-号 森 美香子	原因: A2	E 16
-----	------------------------------	------	--------	---------	--------	--------------------------	-----------------------------	------	---------------------------	--------	---------

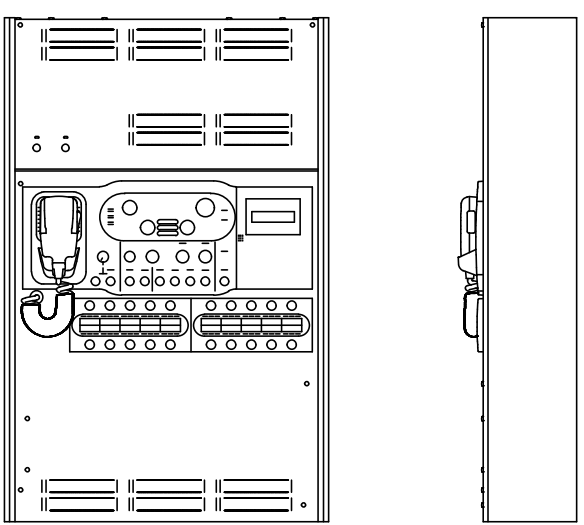


（注記）	
1・特記なき配管配線は下記による。	
	4S6-EM (PF16)
	EM-5C-FB (PF16)
二重天井内はケーブルがしとしし立上げ、立下げ箇所は保護管にて保護すること。	

凡例		
記号		
	ホ-ル音響	
	メインスピーカ	
	サブスピーカ	
	ワイヤレスアンテナ	
	接続盤	
	液晶プロジェクター	別途
	情報用アクトレット 床付け 8極8芯モジュラージャック	

壁掛型非常用放送アンプ

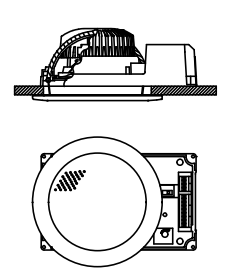
消防認定品



常用電源	AC100 V 50/60 Hz
非常電源	DC24 V 密閉型ニッケル電池実装
定格出力	90 W
非常系統数	10系統
入出力	音声入力×7、制御入力×27、制御出力×13
回線短絡保護	バスバース方式
周波数特性	50 Hz～15 kHz
非常警報音	音声警報、日本語/ニヶ国語 切換式 (ソフトウェアで三ヶ国語/四ヶ国語対応可能)
緊急放送	メッチ×4(内蔵音源再生)
チャイム	上り4音、下り4音、2音、ゴングの4種類
仕上	ケース:銅板 ライトグレー
その他	緊急地震放送法制化対応、一斉移行タイマー内蔵、 自然空冷デザインラック採用、 放送選択スイッチの設定の任意登録、 セルフチェック機能、音声過入力リミット機能、 出火階メセージ:81種類(ソフトウェアで組合せ可)

天井埋込型スピーカ

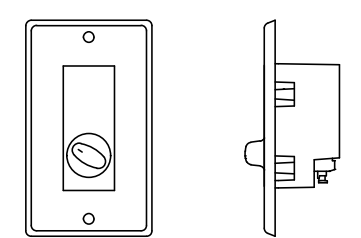
SC6-Hi-1V0-M
L級 消防認定品



定格入力	3 W(3.3 kΩ)、1 W(10 kΩ)
出力音圧レベル	93 dB(1 W、1 m)
周波数特性	100 Hz～18 kHz
スピーカ	12 cmコン型
仕上	枠:樹脂 ホワイト ネット:アクリルパンチング ホワイト
その他	スピーカカバー一体型

アッテネータ

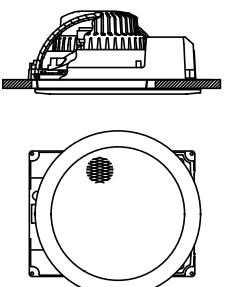
V-6S



入力容量	0.5～6 W
音量切換	5段階切換
仕上	プレート:アルミ

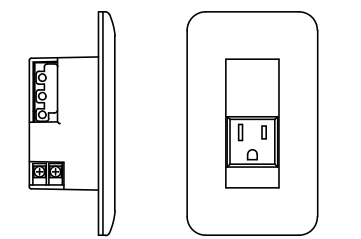
天井埋込型スピーカ ATT付

SC6-Hi-1V3-M
L級 消防認定品



定格入力	3 W(3.3 kΩ)、1 W(10 kΩ)
出力音圧レベル	95 dB(1 W、1 m)
周波数特性	90 Hz～15 kHz
スピーカ	16 cmコン型
仕上	枠:樹脂 ホワイト ネット:アクリルパンチング ホワイト
その他	スピーカカバー一体型、音量調節5段切換

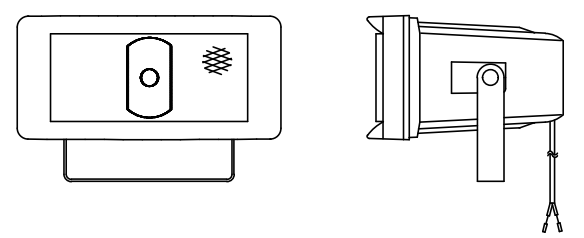
電源カトリレー



制御電源	DC24 V 10 mA(無極性) 非常用放送設備から供給
コンセント用電源	AC100 V 50/60 Hz
電力/電流容量	最大800 W/最大15 A
制御方式	非常時DC24 V断によりAC100 V断制御
適合ボックス	露出:JIS 1個用スイッチボックス 埋込:JIS 1個用中形四角浅形カバー付
その他	3P対応

ホ-ルスピーカ

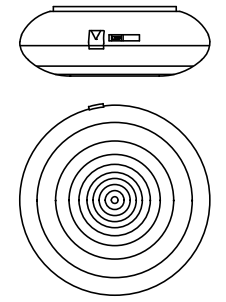
SH-30
L級 消防認定品



定格入力	30 W(330 Ω)、20 W(500 Ω)、10 W(1 kΩ)
出力音圧レベル	98 dB(1 W、1 m)
周波数特性	120 Hz～15 kHz
スピーカ	12 cm防滴コン型
水平指向性	90°
仕上	ケース:樹脂 ライトグレー
その他	防塵・防水性能:IP65

露出型スピーカ ATT付

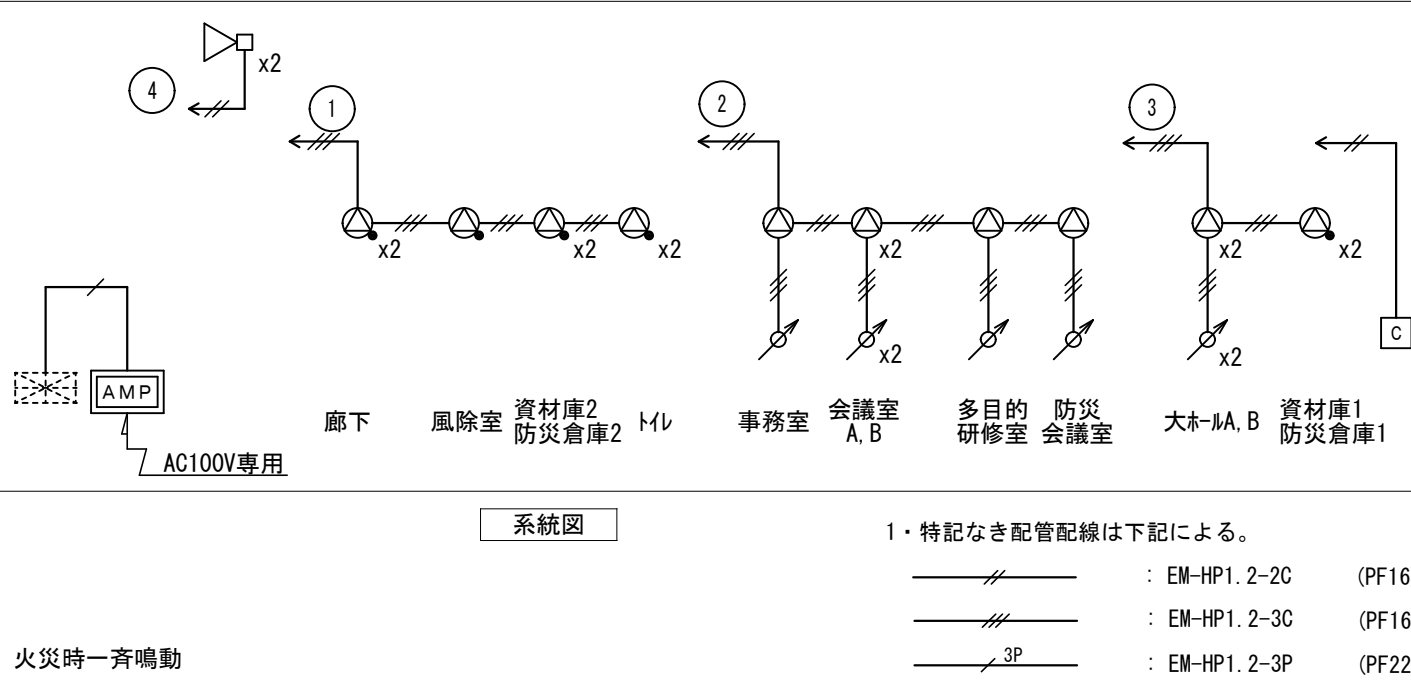
L級 消防認定品

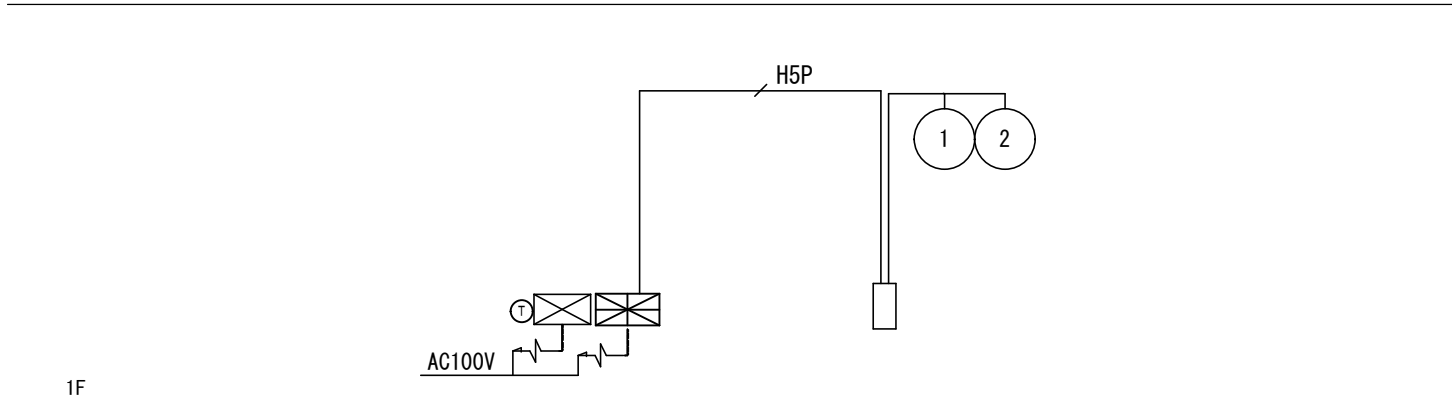


定格入力	3 W(3.3 kΩ)、2 W(5 kΩ)、1 W(10 kΩ)
出力音圧レベル	94 dB(1 W、1 m)
周波数特性	160 Hz～16 kHz
スピーカ	防滴12 cmコン型
仕上	ケース:樹脂 ライトグレー
音量調節器	5段切換

参考図

アンプ容量計算表					
回路					備考
負荷	(1W)	(1W)	(3W)	(30W)	
①		7			
②	5				
③	4	2			
④				2	
計	9	9		2	
合計	9	9		60	78W





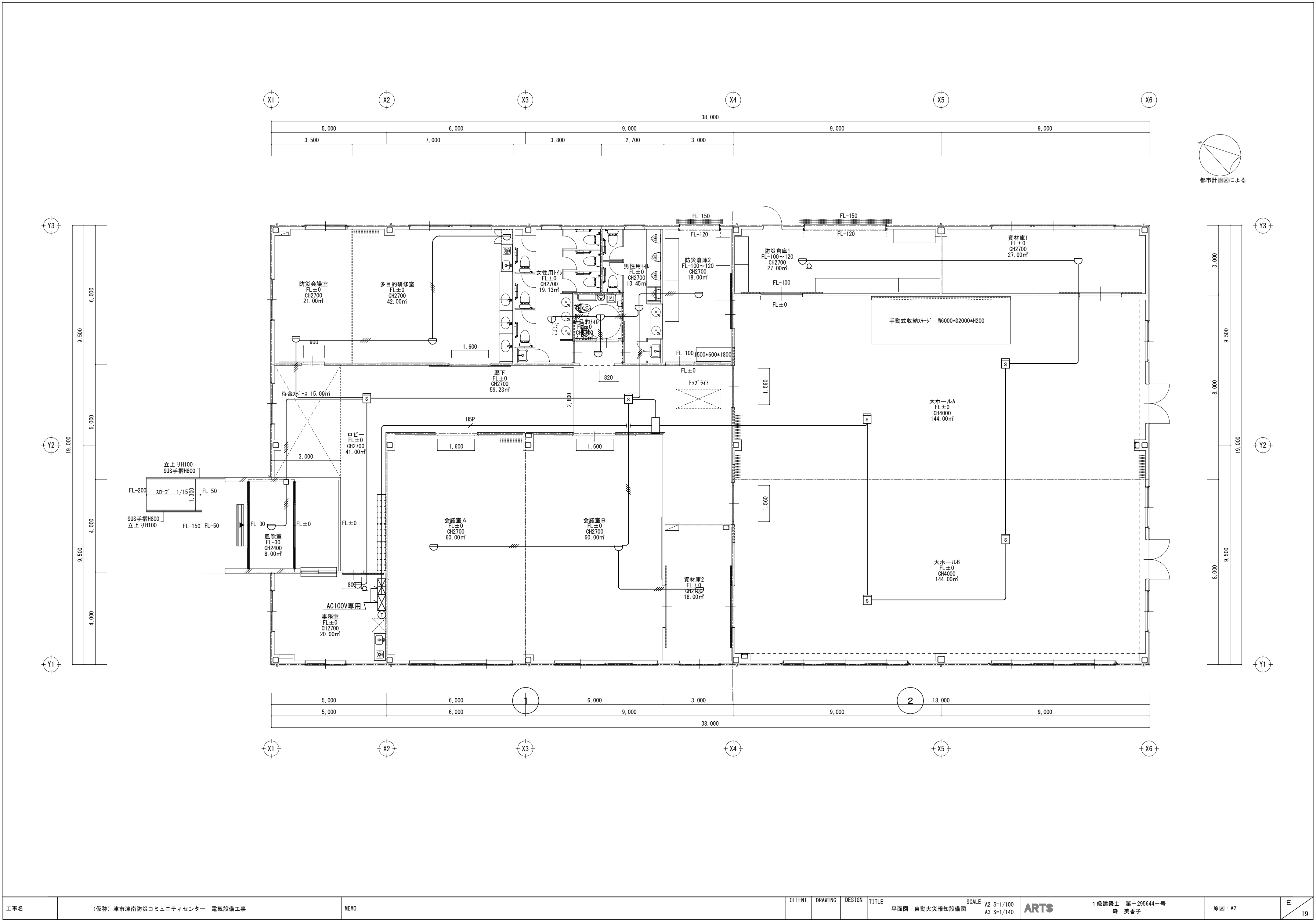
自動火災報知設備系統図

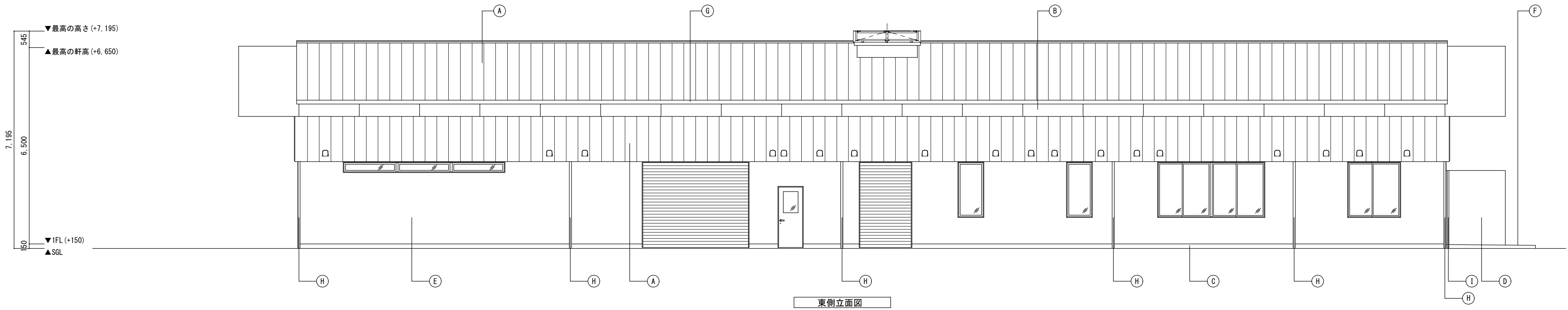
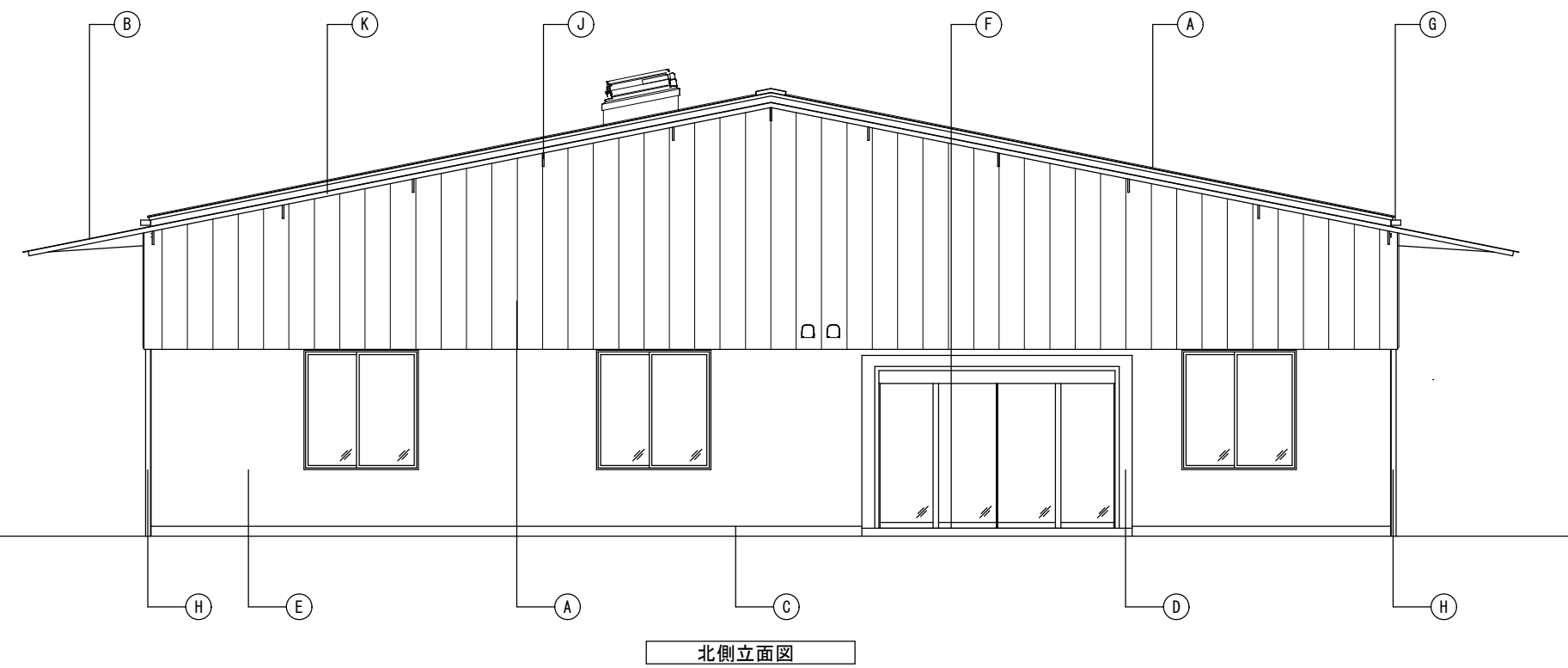
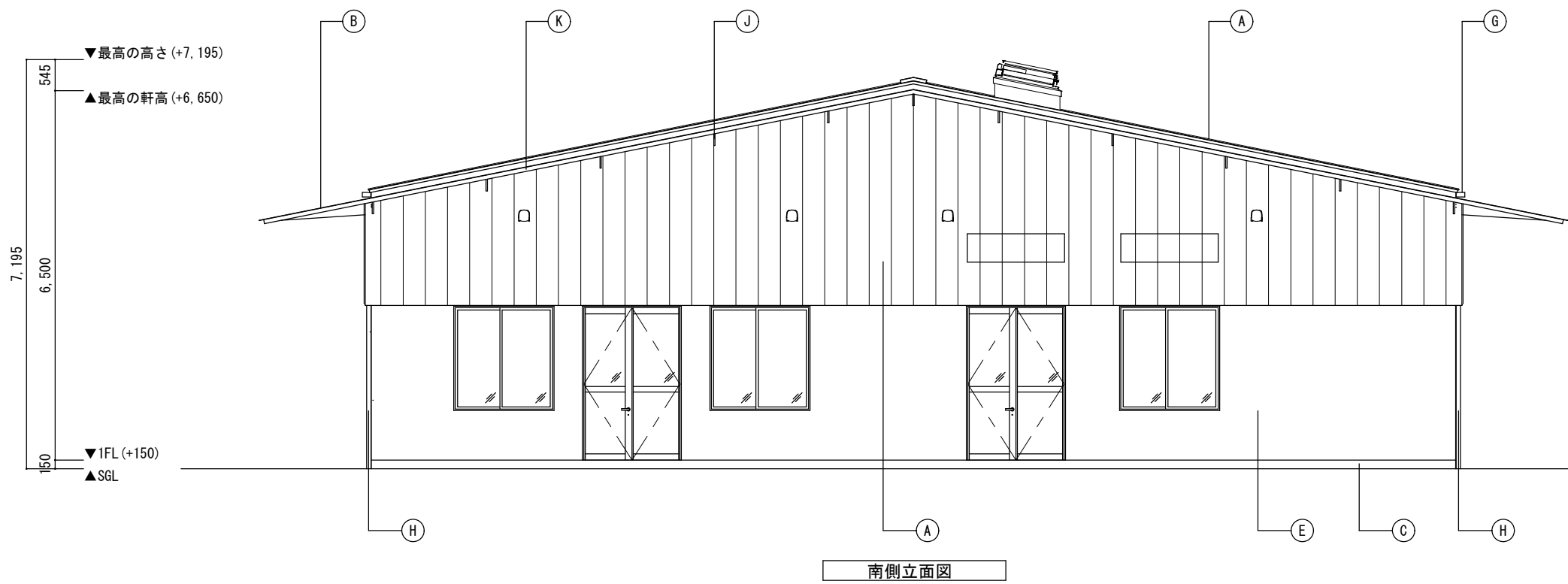
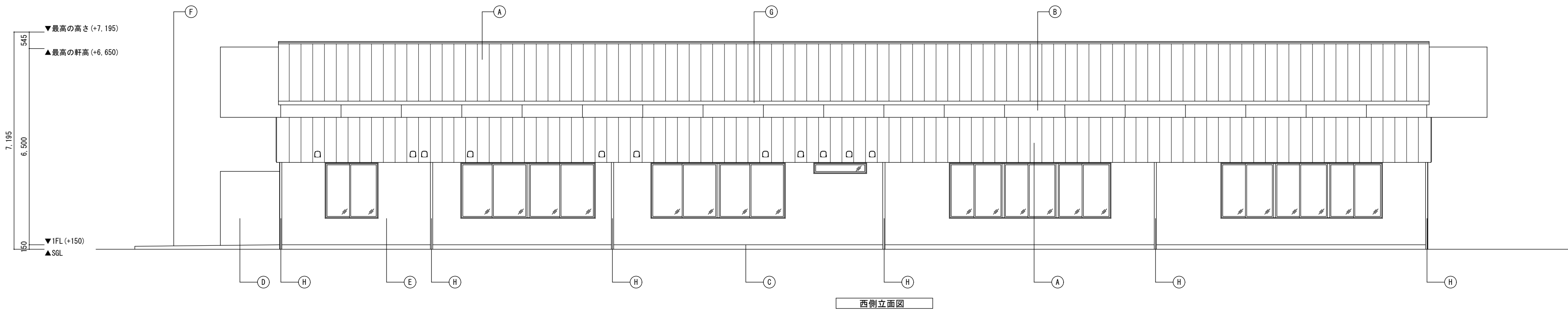
凡		例	
記号	名称	備	考
	受信機	仕様	注記参照
	火災通報装置	仕様	注記参照
	総合盤	埋込型	◎○ 収容
	P型発信機	2級	
	表示灯	AC24V, LED	
	終端抵抗	10KΩ	
	光電式スポット型感知器	2種, 非蓄積型	
	差動式スポット型感知器	2種	
	定温式スポット型感知器	1種, 75℃, 防水型	
	警戒区域番号	火災表示用	
	警戒区域線		
	配管配線		
	配管配線立上げ引下げ		
	ジャンクション, ブルボックス		

注記

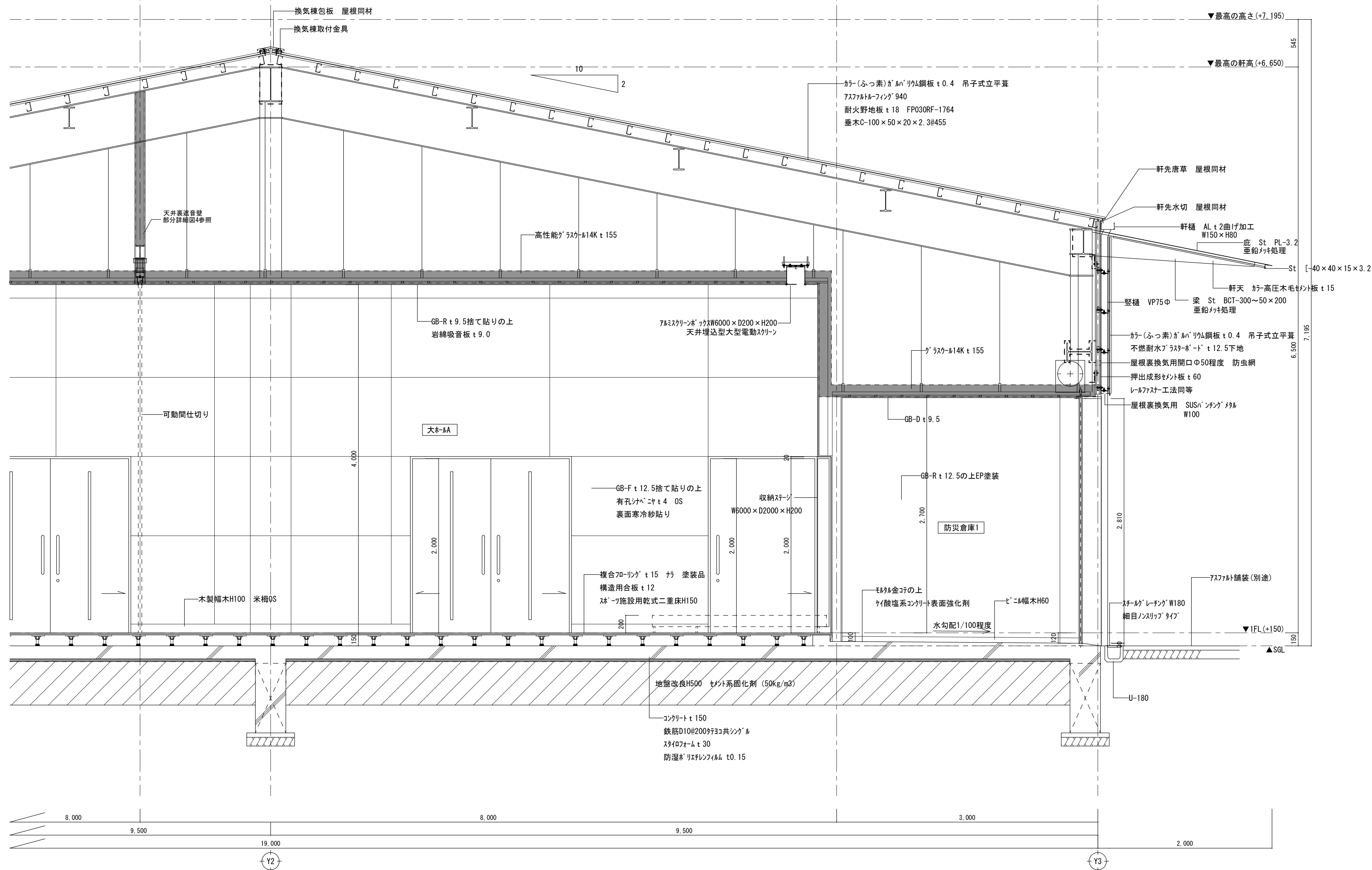
1. 受信機仕様
- 1) P型2級、壁掛型、窓式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵蓄積式、自動断線警報機能付
- 2) 自動試験機能付
- 3) 表示内訳
- ・火災表示2L + 3L（予備）= 5L
- 4) 移報信号内訳：
- ・火災通報装置へ火災代表信号移報（無電圧、a接点、1L）
- ・誘導灯信号装置へ火災代表信号移報（無電圧、a接点、1L）
2. 感知器はすべて確認灯付とする。
3. 火災時の地区警報は、非常放送設備と連動しスピーカからの音声警報にて行う。
- 感知器発報放送：感知器作動時
- 火災放送：発信機作動時
4. 火災通報装置仕様
- 1) 壁掛型、予備電源内蔵、アナログ回線用
- 2) 機器構成
- 火災通報装置、火災通報専用電話機にて構成。
- 3) 自動火災報知設備と連動しない
- 4) メッセージ内容は下記とする。
- 住所津市○○
- 建物名称正式名称で2回繰り返し
- 電話番号建物の代表番号
- 電話番号059-○○○-○○○○

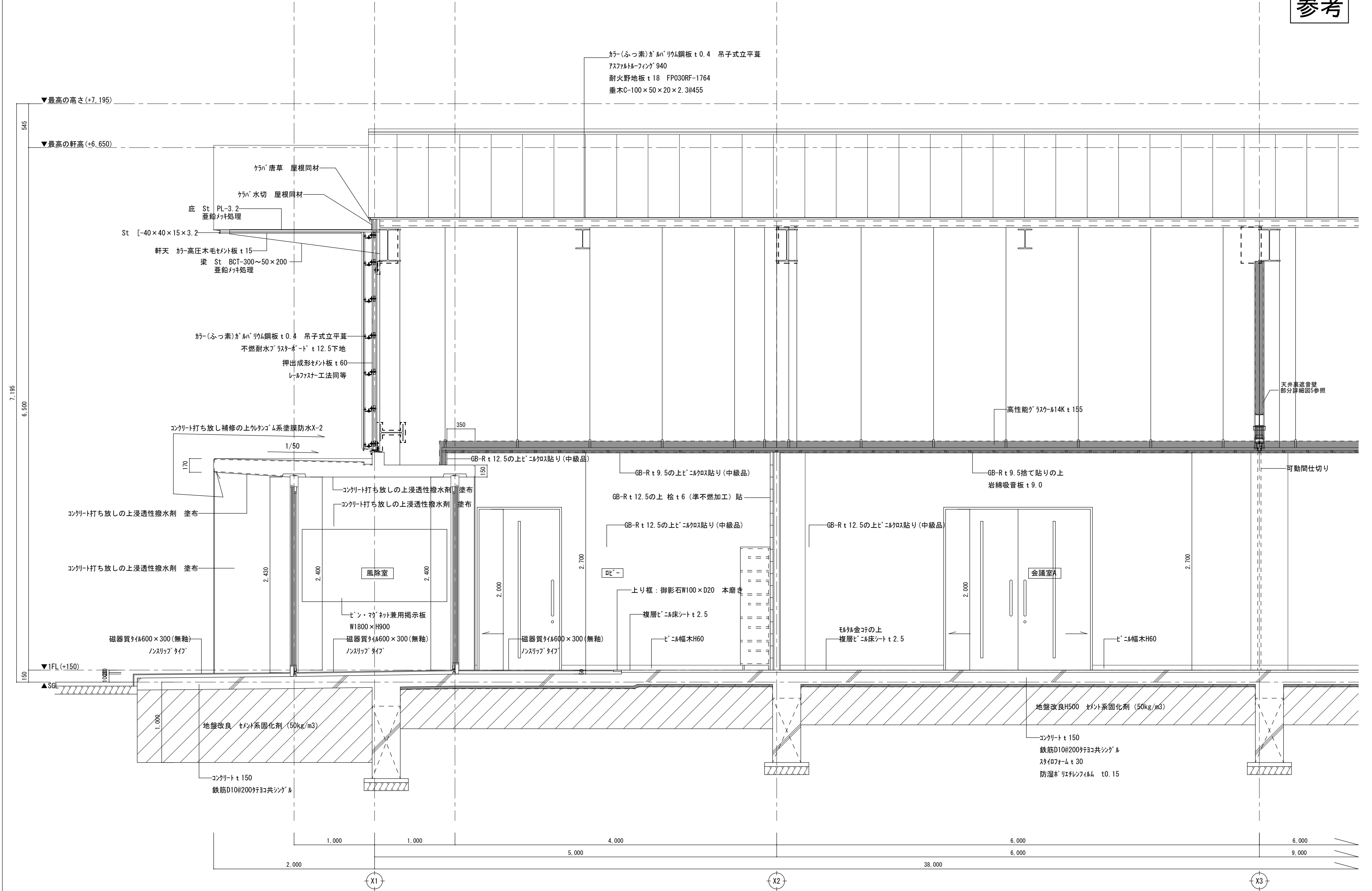
5. 特記なき配管配線は下記参照。
- （二重天井内は天井ころがし配線とする）
- （感知器）
- AE0. 9- 2G (PF16)
- AE0. 9- 4G (PF16)
- H5P
- HP1. 2- 5P (PF22)
6. 受信盤、火災通報装置用電源は専用電源とする。

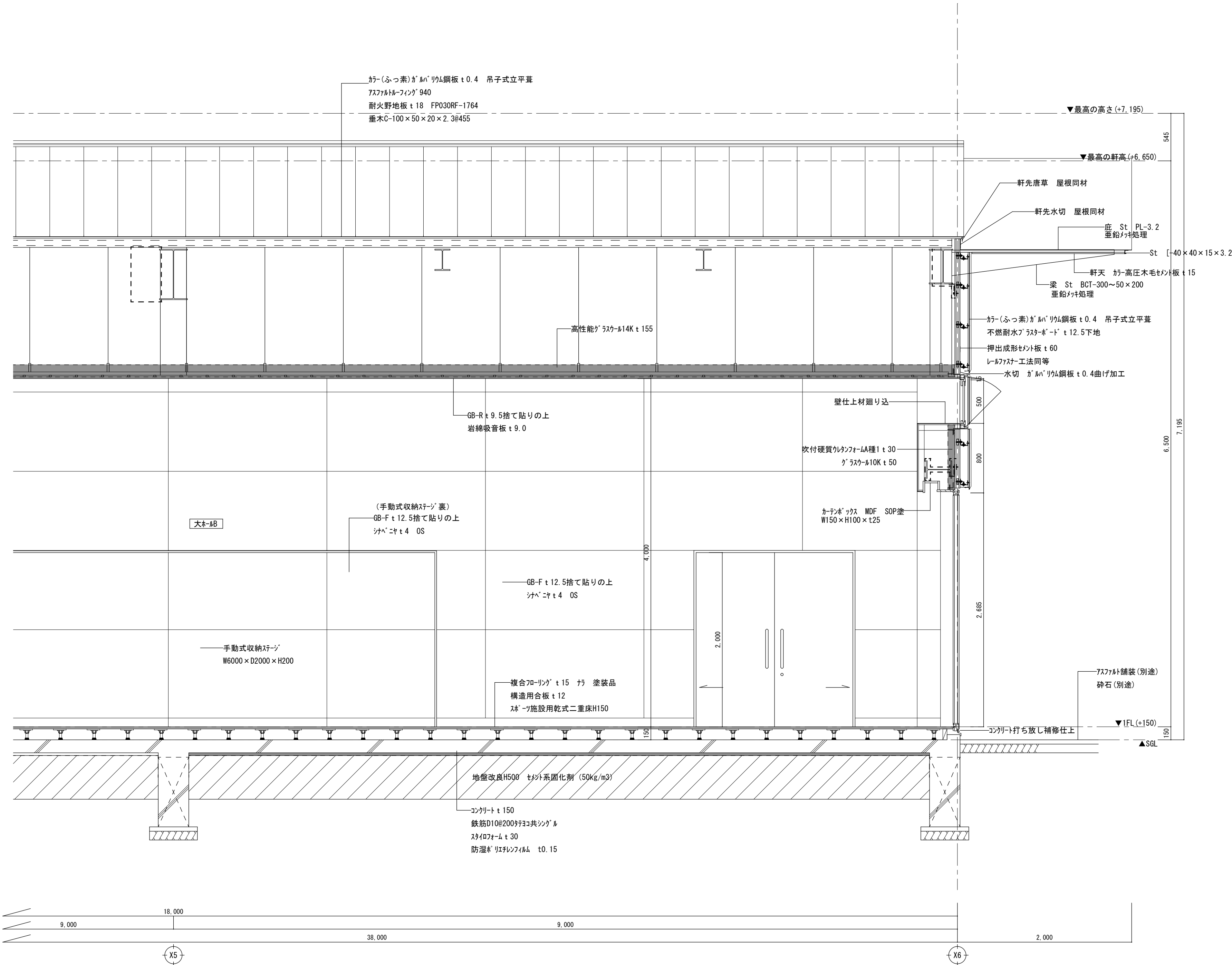




【凡例】							
(A)	ガラス(ファス)が Al リウム鋼板 t 0.4 吊子式立平葺き	(F)	磁器質タイル600×300(無釉) ノンスリップタイプ	(K)	鼻先 [-40×40×15×3.2 亜鉛メッキ処理		
(B)	PL-3.2 亜鉛メッキ処理	(G)	軒樋 Al t2曲げ加工	(L)			
(C)	コンクリート打放し補修仕上	(H)	縦樋 VP75φ	(M)			
(D)	コンクリート打ち放しの上浸透性撥水剤塗布	(I)	縦樋 VP50φ	(N)			
(E)	押出形成メッキ板 t 60の上着色剤混合浸透性撥水剤	(J)	梁 BCT-300～50×200 亜鉛メッキ処理	(O)			







参考

